

令和 5 年 度
当 初 予 算 案 事 業 概 要 書

令和 5 年 2 月 6 日

桑 名 市

令和5年度当初予算の主な事業（目次）

款	名	項	名	目	名	中	事	業	名	所	属	頁数
一 般 会 計												
総務費	総務管理費	一般管理費	三方領地替え200年記念事業費						秘書広報課			1
			地方公共団体情報システム標準化事業費						デジタル推進課			2
		人事管理費	DX・GXアドバイザー事業費						人事課			3
		会計管理費	インボイスシステム改修費						会計管理室			4
		財産管理費	施設整備費						総務課			5
		企画費	ブランド推進事業費						ブランド推進課			6
			パブリックリレーション事業費						ブランド推進課			7
			ふるさと応援寄附推進事業費						ブランド推進課			8
			六華苑竣工110周年記念事業費						ブランド推進課			9
			地域コミュニティ推進事業費						地域コミュニティ課			10
			次世代モビリティサービス推進事業費						政策創造課			11
			AI活用型オンデマンドバス導入推進事業費						政策創造課			12
			出会い・結婚支援事業費						政策創造課			13
			移住・定住促進事業費						政策創造課			14
			若者共創社会実現事業費						政策創造課			15
			桑名駅周辺人口集積促進事業費						政策創造課			16
		情報推進費	窓口サービス等デジタル化推進事業費						デジタル推進課			17
		交通対策費	北勢線運営支援事業費						政策創造課			18
			コミュニティバス運行事業費						政策創造課			19
			養老線運営支援事業費						政策創造課			20
		地区市民センター費	空調・キュービクル設備更新費						地域コミュニティ課			21
			消防庁舎等再編整備事業費(大山田地区市民センター施設整備費)						地域コミュニティ課			22
		市民会館費	施設維持補修費						ブランド推進課			23
民生費	社会福祉費	社会福祉総務費	子ども医療費						子ども未来課			24
			福祉総合相談事業費						福祉総務課			25
	児童福祉費	児童福祉総務費	待機児童対策事業費補助金						子ども未来課			26
			私立保育園整備補助金						子ども未来課			27
			AIチャットボットによる子育て応援事業費						子ども未来課			28
			選べる桑名子育てリフレッシュ事業費						子ども未来課			29
		児童措置費	桑名市版子ども応援手当(児童手当拡大対応)						子ども未来課			30
		母子福祉費	養育費に関する公正証書等作成支援事業費						子ども総合センター			31
		保育所費	IoT保育管理事業費						子ども未来課			32
衛生費	保健衛生費	保健衛生総務費	病院事業運営費負担金						保健医療課			33
		予防費	成人帯状疱疹予防接種助成事業費						保健医療課			34
		保健センター費	新生児聴覚スクリーニング検査事業費						子ども総合センター			35
	清掃費	塵芥処理費	埋立最終処分場環境整備事業費						環境対策課			36
労働費	労働諸費	労働諸費	移住支援事業補助金						商工課			37
農林水産業費	農林水産業費	農林水産業振興費	有害鳥獣等対策事業費						農林水産課			38
			竹資源循環創出推進事業費						農林水産課			39
			山林整備事業費						農林水産課			40
		農地総務費	土地改良事業費						農林水産課			41
			土地改良施設維持管理適正化事業費						農林水産課			42
			多面的機能支払交付金事業費						農林水産課			43
			湛水防除事業費						農林水産課			44
			ため池等整備事業費						農林水産課			45

款名	項名	目名	中 事 業 名	所 属	頁数
商工費	商工費	商工業振興費	スタートアップ共創推進事業費	商工課	46
			企業等誘致奨励金	商工課	47
		観光費	桑名水郷花火大会開催事業費	観光課	48
			多度山快適性向上整備事業費	観光課	49
			観光誘客推進事業費	観光課	50
			桑名ファンクラブ拡大事業費	観光課	51
土木費	土木管理費	土木総務費	狭あい道路整備等促進事業費	土木課	52
			急傾斜地崩壊対策事業	土木課	53
			空き家対策総合支援事業費	都市整備課	54
	道路橋りょう費	道路新設改良費	道路ストック対策事業費	土木課	55
			安全対策事業費	土木課	56
			スマートインターチェンジ推進事業費	土木課	57
			道路防災対策事業費	土木課	58
			市道天王平1号線	新たな学校づくり課	59
			橋りょう維持費	土木課	60
			橋梁長寿命化対策事業費	土木課	61
	河川費	河川総務費	緊急浚渫推進事業費	土木課	62
		河川新設改良費	河川改良事業費	土木課	63
	都市計画費	街路事業費	桑部播磨線	土木課	64
			桑名北部東員線等	土木課	65
		公園費	総合運動公園	土木課	66
		土地区画整理事業費	桑名駅周辺施設整備事業費	駅周辺整備課	67
			土地区画整備事業費	桑名駅西整備事務所	68
	住宅費	住宅管理費	市営住宅整備費	都市管理課	69
			市営住宅解体撤去事業費	都市管理課	70
消防費	消防費	常備消防費	車両購入費	消防本部総務課	71
			消火栓整備費	消防本部総務課	72
			消防庁舎等再編整備事業費(消防本部施設整備費)	消防本部総務課	73
		災害対策費	保存版ハザードマップ作成費	防災・危機管理課	74
			防災行政無線改修事業費	防災・危機管理課	75
			防災行政無線改修事業費	防災・危機管理課	76
教育費	教育総務費	教育振興費	英語教育プラン推進事業費	学校支援課	77
			日本語学習環境充実事業費	人権教育課	78
			教育ICT環境整備事業費	教育総務課	79
			教育用コンピュータ整備事業費	学校支援課	80
			小中学校再編計画策定事業費	教育総務課	81
		小中一貫校費	多度地区小中一貫校建設事業費	新たな学校づくり課	82
	小学校費	学校管理費	トイレ改修事業費	教育総務課	83
			施設改修事業費	教育総務課	84
	中学校費	学校管理費	施設改修事業費	教育総務課	85
			空調設備整備事業費	教育総務課	86
	社会教育費	文化振興費	文化財保存事業費	ブランド推進課	87
	保健体育費	社会体育施設費	総合運動公園第四工区整備事業費	生涯学習・スポーツ課	88
国民健康保険事業特別会計					89
農業集落排水事業特別会計					90
介護保険事業特別会計					91
後期高齢者医療事業特別会計					92
地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計					93

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：秘書広報課

事業名称	中事業 三方領地替え200年記念事業費	予算区分	款 項 目 大事業	総務費 総務管理費 一般管理費 友好都市推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	世界に向けて開かれたまち	国内・国際交流	国内地域間交流の推進		
事業目的					
桑名市・行田市・白河市の友好都市提携をより緊密化させるための事業を行う。					
主な事業内容					
令和5年は、三市が友好都市提携を結ぶきっかけとなった、文政6(1823)年の三方領地替えから、ちょうど200年を迎える。記念すべき年に、多くの方に3市を訪れてもらい、3市の歴史や文化に触れてもらい、3市の友好をより緊密なものにするため、記念品を製作する。					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
記念品製作 三方領地替え200周年記念 クリアファイル 3,000枚 三方領地替え200周年記念 ボールペン 500本				R5	✓
				R6	
				R7	
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		300		300	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他	200		200	
	一般財源	100		100	
令和5年度その他財源内訳		友好都市推進事業協力金 200千円			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属： デジタル推進課

事業名称	中事業 地方公共団体情報システム標準化事業費	予算区分	款 項 目 大	総務費 総務管理費 一般管理費 事業 行政情報化事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	納税者の視点で次の世代に責任ある財政に・行財政改革	その他	その他		
事業目的					
「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づき、地方公共団体において共通し、かつ、統一的な基準に適合する情報システムを利用して処理することが住民の利便性の向上及び行政運営の効率化に寄与する事務を標準準拠システムへ移行する。					
主な事業内容					
・標準化対象事務として政令で定められた20業務のシステムを、国の定めた仕様に基づく標準準拠システムへ、令和7年度末までに順次移行する。 ・移行にあたり、「現行システム」と「標準準拠システム」の業務フローを比較(Fit & Gap)し、「標準準拠システム」に応じた業務フローへ見直す。 ・標準準拠システムは、国が整備するガバメントクラウド上にシステムを構築する。					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
令和4年度: 標準仕様書公開、移行スケジュール検討 令和5年度: 構築作業(住民基本台帳、印鑑登録等) 令和6年度: 構築作業(税業務、就学援助等)、ガバメントクラウド移行 令和7年度: 構築作業(福祉業務、戸籍等)				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		16,500		16,500	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他	16,500		16,500	
	一般財源			0	
令和5年度その他財源内訳		デジタル基盤改革支援補助金 16,500千円			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：人事課

事業 名称	中事業 DX・GXアドバイザー事業費	予算 区分	款	総務費	
			項	総務管理費	
			目	人事管理費	
			大事業 DX・GXアドバイザー事業費		
総合計画の 体系	ビジョン	基本計画		基本事業	
	納税者の視点で次の世代に責任ある財政に・行財政改革	全員参加型市政に向けた組織力と職員力の向上・ヒト		組織の見直し	
事業目的					
国の動向、社会情勢や市の現状を踏まえ、専門的知見からDX(デジタルトランスフォーメーション)及びGX(グリーントランスフォーメーション)に関する支援・助言をもらうことで、桑名市においてDX・GXをより一層推進し、サステナブルなまちづくりを進める。					
主な事業内容					
本市においても、国を挙げて取り組んでいるDX及びGXを、より一層推進するため、職員がデジタル化や脱炭素化に対して戦略的、全体的に考えることが必要であることから、専門的な知識や経験を持つ外部人材からの支援・助言を受けるための体制を整える。 ○技術的側面からの人材の確保(DX戦略フェロー、GX戦略フェローとして外部人材へ委嘱) ①DX戦略フェローからの支援・助言は、以下の項目の助言を想定している。 ・デジタル化事業の推進 ・中核を担う職員(DX推進リーダー)の育成 ②GX戦略フェローからの支援・助言は、以下の項目の助言を想定している。 ・自然資本(再生可能エネルギー、自然環境)の有効活用 ・再生可能エネルギーの地産地消 ・クリーンエネルギーの災害時における活用 ○その他、国や他地方自治体の取組や補助金等財源についての情報提供					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
○令和5年度～令和7年度 DX戦略フェロー及びGX戦略フェローの支援・助言により戦略的に施策を実施 ・打合せ、施策の進捗報告を行い事業に対する助言をもらう(月1回程度)。 (3回は、実際に本市へ来てもらうことを想定) ・施策の実施のための支援をしてもらう(年3回程度)。 (実際に本市へ来て、現場検証、イベントの実施等を行いながらの助言・支援を想定)				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		1,195		1,195	
財 源 内 訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他			0	
	一般財源	1,195		1,195	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：会計管理室

事業名称	中事業 インボイスシステム改修費	予算区分	款 項 目 大事業	総務費 総務管理費 会計管理費 会計管理事務費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画		基本事業	
	納税者の視点で次の世代に責任ある財政に・行財政改革	効率的・安定的な財政経営・カネ		その他	
事業目的					
インボイス制度開始に伴い、財務会計システムを改修する。					
主な事業内容					
令和5年10月1日より「消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）」が開始され、消費税率ごとの消費税額等を記載した請求書等（インボイス）の発行及び保存が必要となる。 本市においても、歳入のうち、消費税の課税対象となる歳入があり、財務会計システムの改修を行い、システムから発行する納付書に「登録番号」、「適用税率」、「消費税額等」の必要事項を印字する機能を追加する。					
事業進捗状況（予定）等				計画年度	
令和5年4月 財務会計システム改修を委託 10月 インボイス対応納付書発行開始				R5	✓
				R6	
				R7	
予算額（単位：千円）					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		1,320		1,320	
財 源 内 訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他			0	
	一般財源	1,320		1,320	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：総務課

事業名称	中事業 施設整備費	予算区分	款 項 目 大	総務費 総務管理費 財産管理費 事業庁舎管理費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	納税者の視点で次の世代に責任ある財政に・行財政改革	資産の有効活用・モノ	公共建築物、いわゆる「ハコモノ」のマネジメント		
事業目的					
本庁舎は、市民サービスを提供する拠点であり、災害時の防災拠点でもある。 この重要な機能を維持するために各施設の整備を行うものである。					
主な事業内容					
○本庁舎防火シャッター分解整備業務委託 本庁舎1階防火シャッター14箇所について、耐用年数を超過し設備の経年劣化が著しいことから分解整備を行うとともに、非常時の挟まれ防止のため安全装置（危害防止装置）の取り付けを行う。 事業費：30,474千円（委託料） ○本庁舎ターボ冷凍機Re-2分解整備点検委託 本庁舎の空調用ターボ冷凍機Re-2について、平成11年度に製造設置されてから23年間経過し、設備の経年劣化が進行していることから分解整備を行う。事業費：21,100千円（委託料） ○除湿機購入 本庁舎地下1階にて結露が原因でカビが繁殖していることから、結露防止のために除湿機の購入を行う。 事業費：1,148千円（備品購入費）					
事業進捗状況（予定）等				計画年度	
○本庁舎防火シャッター分解整備業務委託 ・令和5年4～5月 事業者選定 ・令和5年6月以降 順次施行（1箇所／日） ○本庁舎ターボ冷凍機Re-2分解整備点検委託 ・令和5年4～6月 設計、発注手続き ・令和5年7～11月 契約、取替部品等準備 ・令和5年12月～令和6年2月 分解整備 ○除湿機 ・令和5年5月頃設置				R5	✓
				R6	
				R7	
予算額（単位：千円）					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		52,722		52,722	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債	48,900		48,900	
	その他			0	
	一般財源	3,822		3,822	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：ブランド推進課

事業名称	中事業 ブランド推進事業費	予算区分	款 項 目 大事業	総務費 総務管理費 企画費 ブランド推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	桑名をまちごとブランドに	プロモーション活動	桑名ブランドの推進		
事業目的					
桑名に訪れたい、住みたい、住み続けたいと思う人を増やすため、本市が有する地域資源の魅力や価値を学ぶことができるプログラム、イベント等を実施するとともに、これからの桑名の地域人材を育成する。					
主な事業内容					
○地方創生推進交付金事業 住吉地区及び七里の渡し周辺のまちづくり推進事業委託（インフォメーションショップ運営・桑名城AR／VR・ブランドポータルサイトの構築運営・桑名ほんぱくなど） ○大河ドラマ誘致プロジェクト 6,484千円 トークショー・歴史講演会等、大河ドラマ誘致推進にかかわる事業 ○ふるさと納税推進委員会負担金 750千円					
事業進捗状況（予定）等				計画年度	
○地方創生推進交付金事業 住吉地区及び七里の渡し周辺のまちづくり推進事業委託 令和元～3年度 令和4年度からは、自走して事業を展開していく。 ○大河ドラマ誘致プロジェクト これまで千葉県大多喜町とともに本多忠勝の大河ドラマ誘致の取り組みを行ってきたが、令和3年に姫路市・常総市とともに、「大河ドラマ千姫誘致の会」を立上げた。本多忠勝・千姫を題材とした大河ドラマを呼び込み桑名の歴史を全国にアピールしていく。 ○三重大学との連携協定に基づき、双方が負担し委員会を運営する。				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額（単位：千円）					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		7,234	5,585	1,649	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他	7,234	5,585	1,649	
	一般財源			0	
令和5年度その他財源内訳		ふるさと応援基金繰入金 7,234千円			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：ブランド推進課

事業名称	中事業 パブリックリレーション事業費	予算区分	款 項 目 大 事 業	総務費 総務管理費 企画費 ブランド推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	桑名をまちごとブランドに	プロモーション活動	桑名ブランドの推進		
事業目的					
マスメディアに幅広く市の魅力を情報発信する等プロモーション活動を行い、紙面・テレビ番組等のメディアに露出させることで、市の認知度・イメージ向上を図る。					
主な事業内容					
○首都圏パブリックリレーションズ業務 7,566千円 ・PR会社が有するネットワーク・ノウハウ等を活用し、首都圏を拠点としたマスメディアに情報発信する。 ○桑名の魅力発信 25千円 ・近鉄賢島駅にあるサミット記念館「サミエール」などにおいて桑名市のPR展示を行う。					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
＜令和4年度実施概要＞ ○魅力みつけびと菊池亜希子氏・Mummy-D氏によるトークイベントの実施、YouTubeのオンライン配信、メディア現地取材、「ことりっぷ」・「ライフデザイン」での特集 ○桑名の魅力発信事業 サミエール展示事業 令和4年7月1日～7月29日 三重県東京事務所展示 令和4年9月1日～9月30日				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額（単位:千円）					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		7,591	7,591	0	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他	7,274	7,274	0	
	一般財源	317	317	0	
令和5年度その他財源内訳		ふるさと応援基金繰入金 7,274千円			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：ブランド推進課

事業名称	中事業 ふるさと応援寄附推進事業費	予算区分	款 項 目 大	総務費 総務管理費 企画費 事業 ブランド推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画		基本事業	
	納税者の視点で次の世代に責任ある財政に・行財政改革	効率的・安定的な財政経営・カネ		新たな歳入確保の推進	
事業目的					
ふるさと応援寄附金の返礼品の充実により本市の魅力をPRし、本市に対する寄附意欲を高めることで、歳入の確保と市内事業者の収益向上による経済の活性化を図る。 また、市外の寄附者へ返礼品を贈ることで、本市及び特産品等の認知度を高め、ブランド力の向上につなげていく。					
主な事業内容					
寄附者に対し、本市の特産品や魅力を伝えられる記念品または本市のPRや来訪・交流につながる記念品等を返礼品として贈る。 ※記念品は、市内事業者等から募集し提供していただく。提供に要する費用は市が負担する。 ※寄附金は、ふるさと応援基金に積立て、翌年度以降、寄附者の希望する事業等に充当する。					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
・平成29年度:ふるさと納税申込サイト「ふるさとチョイス」に加え、「楽天市場」を開設(株)トラストバンク主催のふるさとチョイス大感謝祭でのPR活動を実施(以降、毎年参加) ・平成30年度:ふるさと納税申込サイト「さとふる」開設、日本郵便(株)と連携した広告付年賀葉書の作成 ・令和元年度:ふるさと納税申込サイト「ふるなび」開設、総務省通知に基づく地場産品基準厳格化、消費税増税等に対応 ・令和2年度:ふるさと納税管理システムを更新 ・令和3年度:個別の事業を寄附目的として追加、電子感謝券導入 ・令和4年度:三重大学との共創、クラウドファンディング型ふるさと納税の導入				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		262,940	268,659	▲ 5,719	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他	262,940	268,659	▲ 5,719	
	一般財源			0	
令和5年度その他財源内訳		地域振興基金繰入金 201,000千円、ふるさと応援基金繰入金 61,940千円			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：ブランド推進課

事業名称	中事業 六華苑竣工110周年記念事業費	予算区分	款 項 目 大事業	総務費 総務管理費 企画費 ブランド推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画		基本事業	
	桑名をまちごとブランドに	プロモーション活動		桑名ブランドの推進	
事業目的					
六華苑竣工110周年記念事業を実施することで、六華苑が全国に誇る歴史的な建造物であることを市民に知ってもらい、シビックプライドの醸成を図る。あわせて、市民が六華苑に親しみをもち、文化財保護の必要性、重要性を認識してもらうことも目的とする。					
主な事業内容					
六華苑竣工110周年記念事業(案) ①ジョサイアコンドルに関する講演会の開催 ②親子向けコンサートの開催 ③六華苑を題材とした子ども向け小冊子の制作 ④絵本作家によるワークショップの開催					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
令和5年未定 講演会開催 令和5年11月 親子向けコンサートの開催、絵本ワークショップの開催 令和6年3月 絵本完成				R5	✓
				R6	
				R7	
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		1,995		1,995	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他	1,995		1,995	
	一般財源			0	
令和5年度その他財源内訳		文化事業助成金 1,000千円、ふるさと応援基金繰入金 995千円			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：地域コミュニティ課

事業名称	中事業 地域コミュニティ推進事業費	予算区分	款 項 目 大事業	総務費 総務管理費 企画費 SDGs推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画		基本事業	
	中央集権型から全員参加型市政に	市民と行政のパートナーシップ		市民自治の推進および地域運営組織の形成	
事業目的					
地域運営組織(まちづくり協議会)の形成に向けた取組みを促進し、総合計画に掲げる市民の個性が活かせる地域コミュニティを確立する。					
主な事業内容					
・まちづくり協議会準備組織に対して、地域運営組織の立ち上げに向け、まちづくり協議会設立調査準備補助金を交付するとともに、令和4年度までに認定されたまちづくり協議会に対して、まちづくり交付金を交付することで、地域の特性に応じた活動が展開できるよう、財政支援を行う。 ・地域住民及び職員に向けて講演会や研修会を開催し、意識の醸成とまちづくり活動の促進を図る。 ・制度設計及び組織形成に係るアドバイザー業務を外部有識者に委託する。					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
令和3年度 ・まちづくり交付金交付規則を制定 ・16地区にまちづくり協議会設立調査準備補助金を交付 ・まちづくり協議会認定制度を開始し、6地区をまちづくり協議会として認定 令和4年度 ・6地区にまちづくり交付金を交付 ・新たに8地区をまちづくり協議会として認定 令和5年度 ・令和4年度までにまちづくり協議会に認定された14地区にまちづくり交付金を交付				※事業内容は、今後変更することがあります。	
				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		35,709	27,067	8,642	
財源内訳	国支出金		1,909	▲ 1,909	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他	25,148	10,835	14,313	
	一般財源	10,561	14,323	▲ 3,762	
令和5年度その他財源内訳		まちづくり応援基金繰入金 25,148千円			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：政策創造課

事業 名称	中事業 次世代モビリティサービス推進事業費	予 算 区 分	款	総務費	
			項	総務管理費	
			目	企画費	
			大 事業 スマート自治体推進事業費		
総合計画の 体系	ビジョン	基本計画		基本事業	
	地理的優位性を活かした元気なまち	公共交通		その他	
事業目的					
少子高齢化社会の進展にともない、労働人口の減少や公共交通機関の運転手不足が懸念され、また、高齢者の運転免許証返納者の増加による公共交通へのニーズが高まるとされる。これらの社会情勢の変化に対応するため、従来のシステムに代わる新たな交通ネットワークの検討及び自動運転の実現可能性を研究し、持続可能な公共交通を目指す。					
主な事業内容					
・有識者、地域住民、民間バス会社等で構成された研究会により、持続可能な公共交通ネットワークの実現可能性を研究する。 ・自動運転やMaaSといった新たな交通ネットワークの実装に向け、導入エリアや事業性の検討に向けた実証実験を実施するとともに、これらのシステムの社会実装に向けた市民等のニーズ調査を実施する。					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
・令和元年6月 小型自動運転バス実証実験(桑名駅前エリア) ・令和元年11月 第1回研究会 ・令和2年8月 第2回研究会 ・令和2年9月 小型自動運転バス実証実験(大山田団地エリア) ・令和3年8月 第3回研究会 ・令和4年2月 小型自動運転車両による観光型サービス実証実験(桑名駅⇄住吉エリア) ・令和5年1月 第4回研究会 ・令和5年3月 オンデマンド運行管制システムと連動した自動運転サービスの実証実験				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予 算 額 (単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		25,000	25,000	0	
財 源 内 訳	国支出金			0	
	県支出金	3,000	3,000	0	
	地方債			0	
	その他	22,000	22,000	0	
	一般財源			0	
令和5年度その他財源内訳		ふるさと応援基金繰入金 22,000千円			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：政策創造課

事業名称	中事業 AI活用型オンデマンドバス導入推進事業費	予算区分	款 項 目 大 事 業	総務費 総務管理費 企画費 スマート自治体推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	地理的優位性を活かした元気なまち	公共交通	その他		
事業目的					
新型コロナウイルス感染症により人々のライフスタイルや価値観が変化する中、感染リスクをコントロールしつつ、地域住民の移動需要に応える新たな移動手段として、AIを活用した配車やルート検索等の機能を備えたオンデマンドバスの実現可能性を探るための取組を継続する。					
主な事業内容					
アフターコロナにおける新たな交通体系を検討するため、AI、IoT等の最新技術を活用した配車システムによるオンデマンドバスの実証実験を実施する。その際、運転免許証返納者増加等の社会構造の変化に伴う公共交通に対するニーズの高まりを背景に、本市が運行中のコミュニティバスに対して多くの要望を頂いている現状に鑑み、将来的にAI活用型オンデマンドバスがコミュニティバスの代替手段となり得るかについて、利便性や事業採算性の観点を踏まえて検討する。					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
令和3年度 コミュニティバス「西部南ルート」運行エリアにおける運賃無償での実証実験(1か月間) 令和4年度 同エリアにおける運賃有償での実証実験(3か月間) 令和5年度 令和4年度の実証実験の結果を踏まえた取組				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予 算 額 (単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		18,000		18,000	
財 源 内 訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他	18,000		18,000	
	一般財源			0	
令和5年度その他財源内訳		ふるさと応援基金繰入金 18,000千円			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：政策創造課

事業名称	中事業 出会い・結婚支援事業費	予算区分	款 項 目 大	総務費 総務管理費 企画費 事業人口減少対策事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	こどもを3人育てられるまち	その他	その他		
事業目的					
本市における出生数は平成28年以降、5年連続で減少し、令和元年以降は千人を下回り、その減少幅も拡大して、少子化が進展している。また、未婚率についても近年上昇しており、晩婚化、晩産化につながり、少子化の要因の一つとして考えられる。このような状況を踏まえ、少子化対策、人口減少対策として本事業を実施する。					
主な事業内容					
1. マッチングアプリ事業者との連携による出会い支援（公民連携事業により市財政負担ゼロ） 社会が大きく変化している中で、若者を中心に利用者が増加しているマッチングアプリとのコラボによる、桑名市ならではの公民連携、若者の考え・気持ちに寄り添った施策を実施する。具体的には、マッチングアプリの有効活用、安全・安心な利用等についてオンラインセミナーを開催し、その参加者にデジタルギフトコードをプレゼントする。出会いの機会を創出し、恋愛や結婚を希望する市民が、その希望が叶うきっかけづくりを提供する。					
2. 仮想空間「メタバース」を活用した婚活イベント開催 デジタル技術の進展の中で、仮想空間「メタバース」を活用した婚活イベントを開催し、DX推進とともに、恋愛や結婚を希望する市民が、その希望が叶うきっかけづくりを提供する。					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
・令和5年4月～：イベントの広報、参加者の募集 随時、イベントを開催				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額（単位:千円）					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		1,342		1,342	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他			0	
	一般財源	1,342		1,342	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：政策創造課

事業名称	中事業 移住・定住促進事業費	予算区分	款 項 目 大事業	総務費 総務管理費 企画費 人口減少対策事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	地理的優位性を活かした元気なまち	その他	その他		
事業目的					
「桑名市人口減少対策パッケージ“14万”リバウンドプラン」におけるフェーズ1「流入促進」を進めるべく、県外及び市外から働く世代の流入をより一層促進し、社会増を生み出していく。					
主な事業内容					
人口減少対策に寄与するため、県外及び市外から桑名市へ移住する目的で住宅を取得した方に対して、最大補助額1,000千円の補助金を交付する。 ・補助基本額 600千円、若年夫婦(29歳以下の夫婦)加算 300千円、市内企業就業加算 100千円 桑名市移住・定住促進事業補助金 50,000千円(上限1,000千円 × 50件) WEB広告等の広告費・チラシ制作費 3,300千円					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
令和5年度 ・補助交付要綱の制定、制度の広報 ・随時申請受付(予算の上限に達した場合、その時点で受付終了)				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		53,300		53,300	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他			0	
	一般財源	53,300		53,300	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：政策創造課

事業 名称	中事業 若者共創社会実現事業費	予算 区分	款 項 目 大事業	総務費 総務管理費 企画費 人口減少対策事業費	
総合計画の 体系	ビジョン	基本計画		基本事業	
	中央集権型から全員参加型市政に	市民と行政のパートナーシップ		その他	
事業目的					
若者世代は、多様化する価値観を持ち、また幼少期からデジタルデバイスやインターネット、SNS含むソーシャルメディアの存在を前提とした生活をしているデジタルネイティブと言われる世代である。こうした若者の考え・気持ちを施策に反映させ、社会の変化に対応したまちづくりを進めるとともに、若者が継続的に住み続けたいと思うまちづくりを進めていく。					
主な事業内容					
1. 若者の行動や価値観等に関する幹部職員向け研修開催 若者の行動や価値観等に関して研究を行っている事業者より講師を招き、幹部職員向け研修を開催し、講義、ディスカッションを通じて、若者の考え・気持ちに寄り添う施策立案のヒントを得る。 2. 「サステナ部」活動を支援する環境整備 サステナブルなまちづくりに取り組むため、学生が主体となった桑名市部活「サステナ部」について、メタバースやオンライン会議を活用できる環境整備を図り、若い世代の成長を促し、未来人財の創出につなげていく。 3. 個別のテーマに対するLINEアンケートの実施（ゼロ予算事業） 若者の実態やニーズを把握し、若者支援に関する施策の充実を図ることを目的とし、LINEの市公式アカウントを活用して、個別のテーマに対するアンケートを実施し、施策立案につなげていく。					
事業進捗状況（予定）等				計画年度	
令和5年度： ・若者の行動や価値観等に関する幹部職員向け研修開催 ・個別のテーマに対するLINEアンケートの実施 ・「サステナ部」活動を支援する環境（メタバース部室、オンライン会議）や機器類の整備				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予 算 額（単位：千円）					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		978		978	
財 源 内 訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他			0	
	一般財源	978		978	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：政策創造課

事業名称	中事業 桑名駅周辺人口集積促進事業費	予算区分	款 項 目 大	総務費 総務管理費 企画費 大	
総合計画の体系	ビジョン 地理的優位性を活かした元気なまち	基本計画 その他	基本事業 その他		
事業目的					
「桑名市人口減少対策パッケージ」14万”リバウンドプラン」におけるフェーズ1「流入促進」を進めるべく、桑名駅周辺地区の利便性の高さを活かし、高度利用による人口集積と共に定住人口の確保を図るため、桑名市商業業務誘導地区建築条例による特定建築物の建築制限に基づき、一定規模以上の共同住宅等居住系の建築物の建築を行おうとする者に対して補助を行い、商業業務の活性化及び魅力あるまちづくりの整備促進と合わせて人口減少対策を図るものである。					
主な事業内容					
商業業務誘導地区において、桑名市商業業務誘導地区建築条例における特定建築物の建築制限に基づき、特定建築物の建築を行おうとする者に対して、補助金1,000万円を交付する。 ・対象者 特別用途地区内において、新築・増築等を行う者（個人及び法人） ・補助条件 一定規模（延べ面積1,000㎡以上）、新規居住スペース20戸以上 ・補助額 対象建築物当り 1,000万円					
事業進捗状況（予定）等				計画年度	
令和5年度 ・補助交付要綱の制定、制度の広報 ・随時申請受付（予算の上限に達した場合、その時点で受付終了）				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額（単位：千円）					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		20,000		20,000	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他			0	
	一般財源	20,000		20,000	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：デジタル推進課

事業名称	中事業 窓口サービス等デジタル化推進事業費	予算区分	款 項 目 大事業	総務費 総務管理費 情報推進費 DX(デジタルトランスフォーメーション)推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	納税者の視点で次の世代に責任ある財政に・行財政改革	その他	その他		
事業目的					
ICTを活用した業務の執行や各種手続等をデジタル化することにより、市民サービスの向上と業務効率化を図る。					
主な事業内容					
・窓口において、外国語翻訳や各種案内にタブレット端末や補助ディスプレイを活用し、円滑なコミュニケーションを図る。 ・証明発行や各種手続きに係る申請・本人確認・手数料納付など一連の作業が、スマートフォン等から利用できるオンライン化を推進する。 ・世帯状況や条件等を入力することで、事前に必要な手続きや持参物等を確認できる「手続きガイド」を活用する。 ・プログラミングの考え方を学ぶ教室を開催する。					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
令和2年度: 保育所入所・住民票写し等のオンライン申請、窓口キャッシュレス化 令和3年度: オンライン申請推進、窓口キャッシュレス拡充及びPOSシステム導入 令和4年度: 手続きガイド導入、窓口キャッシュレス拡充 令和5年度: 窓口補助ディスプレイ導入、プログラミング教室開催				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額 (単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		10,288	7,157	3,131	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他	10,288	7,157	3,131	
	一般財源			0	
令和5年度その他財源内訳		ふるさと応援基金繰入金 10,288千円			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：政策創造課

事業名称	中事業 北勢線運営支援事業費	予算区分	款 項 目 大事業	総務費 総務管理費 交通対策費 ブランド推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	地理的優位性を活かした元気なまち	公共交通	鉄道輸送の維持・確保		
事業目的					
市内外から人が集まり活発な交流が展開されるにぎわいと活力のある中心市街地の形成を図るとともに、朝夕の効率的な大量輸送によって交通渋滞の緩和と環境負荷の低減を図るため、基幹交通である鉄道輸送の維持、確保に取り組む。					
主な事業内容					
北勢線を運営する三岐鉄道株式会社に対して運営費の補助を行う。 ・運営支援補助金の交付 151,496千円 ・駅舎、駐車場、駐輪場用地の維持管理等 8,073千円 蓮花寺駅:駅舎 駐車場(38台) 星川駅北:駅舎 駐車場(35台) 星川駅南:駐車場(33台) ・蓮花寺駅駐車場の草刈 20千円 ・北勢線事業運営協議会負担金の交付 1,402千円 ・利用促進イベントの運営協力 ・光熱水費 276千円 ・修繕料 100千円 ・委託料 51千円					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
※事業内容は、今後変更することがあります。 ・令和4～6年度の3年間について、桑名市、いなべ市、東員町にて運営支援を行う。 令和5年度の支援額(沿線市町合計) 325,100千円				R5	✓
				R6	✓
				R7	
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		161,418	164,019	▲ 2,601	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他	161,418	164,019	▲ 2,601	
	一般財源			0	
令和5年度その他財源内訳		土地、その他貸付収入 740千円、ふるさと応援基金繰入金 160,678千円			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：政策創造課

事業名称	中事業 コミュニティバス運行事業費	予算区分	款項目 総務費 総務管理費 交通対策費 大事業 公共交通対策費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	地理的優位性を活かした元気なまち	公共交通	バス輸送の維持・確保	
事業目的				
超高齢社会を迎える中、車を利用できない方の買い物や通院、通学、今後運転できなくなる高齢者や増加傾向にある運転免許証返納者の市民生活を支える交通環境を整えるために、より身近な移動手段であるバス輸送の維持、確保に取り組む。 また、令和3年度市民満足度調査における「重要度が高いが、満足度が低い」という結果を受けて、交通空白地の解消や交通結節点の更なる充実等、地域の実情に応じた運行をすることにより、市民満足度の向上を図る。				
主な事業内容				
コミュニティバス・デマンド乗合タクシーの運行を民間事業者に委託する。 ・運行日：月曜日～土曜日 ※年末年始(12月29日～1月3日)を除く 150,434千円 ・運賃：コミュニティバス 1乗車100円(未就学児は無料)、デマンド乗合タクシー 1乗車200円 ・路線：市内全域にて8路線運行(長島地区の一部にてデマンド乗合タクシー) ・時刻表印刷 952千円 ・コミュニティバスルート変更に伴うお知らせ配布手数料 67千円 ・公共交通利用促進ネットワーク見える化事業負担金 25千円 生活路線バスを維持する。8,093千円 ・路線：桑名城南線 ・運賃：三重交通の料金体系(190～380円)				
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。			計画年度	
・令和4年度 北部ルートにて、乗客の安全確保に伴うルート見直しを実施 利用者ニーズが多様化、細分化する中、Kバスの運行サービス水準(本数、時間帯、バス停留所間隔・位置等)を抜本的に見直す必要がある。利便性や満足度を向上させ、持続可能な移動手段を確保するため、デマンド乗合サービスを含めた新たな公共交通サービスの展開の検討を進める。			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予算額(単位:千円)				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		159,571	156,369	3,202
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	159,571	156,369	3,202
令和5年度その他財源内訳				

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：政策創造課

事業名称	中事業 養老線運営支援事業費	予算区分	款項目 総務費 総務管理費 交通対策費 大事業 公共交通対策費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	地理的優位性を活かした元気なまち	公共交通	鉄道輸送の維持・確保	
事業目的				
市内外から人が集まり活発な交流が展開されるにぎわいと活力のある中心市街地の形成を図るとともに、朝夕の効率的な大量輸送によって交通渋滞の緩和と環境負荷の低減を図るため、基幹交通である鉄道輸送の維持、確保に取り組む。				
主な事業内容				
・養老線地域公共交通再生協議会負担金 200千円 ・養老鉄道活性化協議会分担金 5千円 ・一般社団法人養老線管理機構負担金 134,616千円 ・一般社団法人養老線管理機構補助金 9,927千円				
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。			計画年度	
新体制移行6年目 ・平成30年1月1日新体制に移行した。 (第2種鉄道事業者:養老鉄道株式会社、第3種鉄道事業者:一般社団法人養老線管理機構) ・平成29年度まで、養老鉄道株式会社に対する運営費補助を行った。平成30年度以降は、一般社団法人養老線管理機構の運営費等を沿線7市町にて負担し、養老鉄道株式会社に対する運営補助は行わない。			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予算額(単位:千円)				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		145,035	141,003	4,032
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	145,035	141,003	4,032
	一般財源			0
令和5年度その他財源内訳		ふるさと応援基金繰入金 145,035千円		

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：地域コミュニティ課

事業名称	中事業 空調・キュービクル設備更新費	予算区分	款 項 目 大事業	総務費 総務管理費 地区市民センター費 多度地区市民センター費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画		基本事業	
	納税者の視点で次の世代に責任ある財政に・行財政改革	資産の有効活用・モノ		公共建築物、いわゆる「ハコモノ」のマネジメント	
事業目的					
多度地区市民センターのキュービクル設備が老朽化したため更新する。					
主な事業内容					
多度地区市民センターのキュービクル設備は、設置から36年が経過し中部電気保安協会から更新の必要性が指摘されているため更新する。					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
令和5年度:キュービクル設備更新工事				R5	✓
				R6	
				R7	
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		50,331		50,331	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債	47,800		47,800	
	その他			0	
	一般財源	2,531		2,531	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：地域コミュニティ課

事業名称	中事業 消防庁舎等再編整備事業費(大山田地区市民センター施設整備費)	予算区分	款 項 目 大事業	総務費 総務管理費 地区市民センター費 消防庁舎等再編整備事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	中央集権型から全員参加型市政に	市民と行政のパートナーシップ	市民活動環境の充実		
事業目的					
消防本部の高台移転に加え、大山田地区市民センター・まちづくり拠点施設との複合施設を建設することで、市民の安全・安心を確保し、さらなる強固な防災体制の確立と市民サービスの向上を図るため。					
主な事業内容					
消防庁舎等再編整備事業者選定プロポーザルを進め、優先交渉権者を選定し、基本契約を締結の上、令和6年度中の施設完成を目指し事業を進める。 令和5年度については、立体駐車場の建設及び供用開始を予定し、本体施設については、開発工事を開始する。					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
令和4年度 優先交渉権者の決定、総事業費の予算計上、基本設計、実施設計 令和5年度 立体駐車場建設、地区市民センター解体、本体工事施工 令和6年度 本体工事施工、完成				R5	✓
				R6	✓
				R7	
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		81,454		81,454	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債	64,300		64,300	
	その他			0	
	一般財源	17,154		17,154	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：ブランド推進課

事業名称	中事業 施設維持補修費	予算区分	款項目 総務費 総務管理費 市民会館費 大事業 施設維持補修費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	桑名をまちごとブランドに	文化・スポーツ	文化芸術活動の推進	
事業目的				
市民会館を適正に維持管理し、市民を含む多くの方々が利用できる状態を保持する。				
主な事業内容				
会館照明盤改築工事 11,540千円 大ホール消火銃改築工事 4,660千円 小ホール大黒修繕 1,300千円 副受変電盤改築工事(令和5年、6年債務負担) 29,310千円(令和5年 11,720千円、令和6年 17,590千円) ホール棟北側2階防水改修工事 2,004千円 舞台機構改修工事 88,605千円 会館棟他防水改修工事 50,000千円 空調設備改修工事 30,408千円				
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。			計画年度	
令和5年度	会館照明盤改築工事 大ホール消火銃改築工事 小ホール大黒修繕	債務負担行為設定(令和5年度～令和6年度)	R5	✓
令和6年度	副受変電盤改築工事 ホール棟北側2階防水改修工事		R6	✓
令和7年度	副受変電盤改築工事 舞台機構改修工事 会館棟他防水改修工事 空調設備改修工事		R7	✓
予算額(単位:千円)				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		31,224	13,420	17,804
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債	16,500	2,300	14,200
	その他			0
	一般財源	14,724	11,120	3,604
令和5年度その他財源内訳				

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：子ども未来課

事業名称	中事業 子ども医療費	予算区分	款 民生費 項 社会福祉費 目 社会福祉総務費 大事業 福祉医療費助成費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	安心して子どもを産み育てられる環境の整備	
事業目的				
保健の向上と福祉の増進に寄与するため、子どもの医療費の自己負担相当額を助成する。令和5年度は、人口減少対策パッケージの一環として、子育て家庭など若い世代の流入・定着を促し、すべての子育て家庭が安心して子育てができる環境を整備するため、保護者の所得制限の撤廃及び対象児童の年齢を18歳年度末(高校生相当)まで拡大する。なお、すべての年齢において現物給付とする。				
主な事業内容				
子どもが医療機関で受診した際に、窓口で支払う自己負担相当額を助成する。 ①償還払い…医療費を一旦窓口で負担して、受診した月から最短2か月後の月末に登録口座へ助成額を振り込む。 ②現物給付…医療費の窓口での負担をなしとする。 ※現物給付は未就学児が三重県内の医療機関に受診した場合のみ対象となる。				
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。			計画年度	
・令和4年9月 対象者を全ての中学生まで拡大(所得制限あり) ・令和5年4月 所得制限撤廃 ・令和5年9月 対象者を18歳年度末(高校生相当)まで拡大し、現物給付により助成する。			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予算額(単位:千円)				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		503,949	406,706	97,243
財源内訳	国支出金			0
	県支出金	182,230	179,125	3,105
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	321,719	227,581	94,138
令和5年度その他財源内訳				

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：福祉総務課

事業名称	中事業 福祉総合相談事業費	予算区分	款 民生費 項 社会福祉費 目 社会福祉総務費 大事業 SDGs推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	命を守ることが最優先	介護保険・高齢者福祉	地域包括ケアシステムの深化・推進	
事業目的				
介護、障害、子育て等、複雑化する福祉分野の相談に包括的に対応する。				
主な事業内容				
福祉なんでも相談センター(桑名地区、多度地区、長島地区)において地域包括支援センターの業務と介護・障害・子育て等、複雑化する福祉分野の相談に包括的に対応する福祉の総合相談事業を一体的に実施する。福祉関係の困りごとを解決するために必要な制度やサービス、手続等を紹介するほか、重層的支援体制整備事業の一部として、適切な関係部署や外部機関と連携した支援を実施する。				
<事業費の内訳> ・総事業費 32,398千円 ・うち介護保険事業特別会計分 10,650千円				
事業進捗状況(予定)等			計画年度	
・平成29年4月～ 大山田地区に福祉なんでも相談センターを開設・運営 ・令和2年8月～ 多度地区、長島地区に福祉なんでも相談センターを増設 ・令和4年4月～ 重層的支援体制整備事業運用開始 ・令和5年4月～ 重層的支援体制整備事業として一部機能拡張			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予算額 (単位:千円)				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		21,748	18,748	3,000
財源内訳	国支出金	16,311	14,061	2,250
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	5,437	4,687	750
	一般財源			0
令和5年度その他財源内訳		ふるさと応援基金繰入金 5,437千円		

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：子ども未来課

事業名称	中事業 待機児童対策事業費補助金	予算区分	款 項 目 大事業	民生費 児童福祉費 児童福祉総務費 私立保育園運営費補助金	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	就学前の教育・保育の充実		
事業目的					
待機児童対策として、私立保育園の低年齢児保育等に事業補助を行い、低年齢児の受け入れを促す。					
主な事業内容					
補助事業名 ①低年齢児保育量拡大補助金 ②障害児加配保育士等人件費補助金 ③アレルギー除去食対応補助金 補助内容 ①0歳児、1歳児を預かる保育士の人件費補助等 ②障害児を保育するための人件費補助 ③市が認定したアレルギー児に対応するための人件費補助					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
当該補助金により、保育需要の高い0歳児、1歳児の受け入れ及び障害児の受け入れを促し、待機児童の抑制につながっている。				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		128,068	100,940	27,128	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他	20,000		20,000	
	一般財源	108,068	100,940	7,128	
令和5年度その他財源内訳		子ども応援基金繰入金 20,000千円			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：子ども未来課

事業名称	中事業 私立保育園整備補助金	予算区分	款 民生費 項 児童福祉費 目 児童福祉総務費 大事業 民間社会福祉施設等整備助成事業費	
総合計画の体系	ビジョン こどもを3人育てられるまち	基本計画 子ども・子育て支援	基本事業 就学前の教育・保育の充実	
事業目的				
待機児童対策として、私立保育園の改修事業に対し、厚生労働省の補助メニューである保育所等整備交付金事業に沿って補助事業を行う。				
主な事業内容				
既存保育園及び認定こども園の建替え(負担割合:国2／3・市1／12・事業者1／4)を行う。 ○補助対象者 ・社会福祉法人 アパティア福祉会 ・社会福祉法人 耕逸山児童福祉協会 ○事業内容 厚生労働省の補助メニューである保育所等整備交付金事業に沿って補助事業を行う。 事業により待機児童を出さない保育環境を整備すると共に、老朽化している保育園の改修を補助し子どもたちにとって安全安心な保育環境を確保する。				
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。			計画年度	
＜スケジュール＞ アパティア福祉会 令和5年4月 補助申請 令和6年3月 新園舎完成予定 令和6年4月 開園予定 令和6年6月 既存保育園解体予定 耕逸山児童福祉協会 令和5年8月 補助申請 令和6年12月 新園舎完成予定 令和7年4月 開園予定			R5	✓
			R6	✓
			R7	
予 算 額 (単位:千円)				
事業費		5 年 度 当 初	4 年 度 当 初	増 減 額
計		260,365	272,626	▲ 12,261
財 源 内 訳	国 支 出 金	231,436	229,465	1,971
	県 支 出 金			0
	地 方 債			0
	そ の 他	28,929	43,161	▲ 14,232
	一 般 財 源			0
令和5年度その他財源内訳		子ども応援基金繰入金 28,929千円		

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：子ども未来課

事業名称	中事業 AIチャットボットによる子育て応援事業費	予算区分	款 民生費 項 児童福祉費 目 児童福祉総務費 大 事業 人口減少対策事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	子育て家庭への支援サービスの充実	
事業目的				
＜人口減少対策フェーズ2 子育て家庭の定着環境整備＞ 子育て世帯には、育児や仕事で忙しく日中に問合せできない方も多い。また、子育てについては、情報も多岐に渡っており、さまざまな相談が寄せられていることから、AIチャットボットを導入し、子育ての情報を広く検索、取得できるようにすることで、子育て支援の更なる充実と情報発信を図る。				
主な事業内容				
子育て世帯が24時間365日、必要な情報を的確に受け取ることができるよう、AIチャットボットを導入する。 ＜事業費の内訳＞ 委託料 9,269千円（導入費5,881千円、ランニングコスト3,388千円）				
事業進捗状況（予定）等			計画年度	
スケジュール 令和5年4～5月 事業者募集 令和5年6～7月 契約、開発予定 令和5年8月 事業開始予定			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予算額（単位：千円）				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		9,269		9,269
財源内訳	国支出金	4,634		4,634
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	4,635		4,635
令和5年度その他財源内訳				

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：子ども未来課

事業名称	中事業 選べる桑名子育てリフレッシュ事業費	予算区分	款 民生費 項 児童福祉費 目 児童福祉総務費 大事業 人口減少対策事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	子育て家庭への支援サービスの充実	
事業目的				
＜人口減少対策フェーズ2 子育て家庭の定着環境整備＞ 市と民間事業者が協力のもと、子育て世帯が選ぶことができるリフレッシュ事業を提供する。子育て世代に対するプロモーション事業としても実施し、子育て世代のウェルビーイングを高め、定着環境整備を図るとともに子育てを応援する機運を醸成する啓発も行う。 また、民間事業者と連携を図ることで、子どもの誕生を喜び、希望を持って子育てが出来る環境を地域全体に広げる。				
主な事業内容				
市の子育て支援事業と民間事業者のプランを融合することで、「食と心と身体の健康」をテーマとした、「自分時間」を満喫できるメニューを市内の民間事業者から募集し、日頃、子育てに時間を費やし、自分時間を作ることが難しい1歳未満児の子育て家庭のパパ・ママを対象に、選べるプレミアムなリフレッシュメニューを提供する。（デジタルチケットを活用予定） ◎市の事業例 一時預かりサービス等 × ◎民間提案例 ヨガと温泉とランチ、マッサージ・リフレクソロジーとランチ、宅食とオンラインヨガ等 ※債務負担行為設定（令和5年度～6年度）				
事業進捗状況（予定）等			計画年度	
スケジュール 令和5年4～5月 事業提案募集 令和5年6～7月 契約、開発準備予定 令和5年8月 事業開始予定			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予算額（単位：千円）				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		13,946		13,946
財源内訳	国支出金	525		525
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	6,400		6,400
	一般財源	7,021		7,021
令和5年度その他財源内訳		子ども応援基金繰入金 5,500千円、一時保育負担金 900千円		

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：子ども未来課

事業名称	中事業 桑名市版子ども応援手当(児童手当拡大対応)	予算区分	款 民生費 項 児童福祉費 目 児童措置費 大 事業 人口減少対策事業費	
総合計画の体系	ビジョン こどもを3人育てられるまち	基本計画 子ども・子育て支援	基本事業 安心して子どもを産み育てられる環境の整備	
事業目的				
児童手当・特例給付を一定の所得を超えていることにより受給できない方、及び児童手当の対象児童ではない中学校卒業後から18歳年度末到達までの児童の保護者等に、桑名市版子ども応援手当を支給することで子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。				
主な事業内容				
①児童手当法施行令の一部改正により児童手当(特例給付を含む)を受給できなくなった世帯に対し、市独自に対象児童1人当たり月額5,000円の給付を行う。 ②高校生相当(中学校卒業後～18歳年度末)の児童を養育している世帯に対し、市独自に対象児童1人当たり月額5,000円の給付を行う。				
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。			計画年度	
令和4年度～ システム構築及び制度設計 令和5年度6月より対象(10月以降支払開始予定)			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予 算 額 (単位:千円)				
事業費		5 年 度 当 初	4 年 度 当 初	増 減 額
計		216,608		216,608
財 源 内 訳	国 支 出 金			0
	県 支 出 金			0
	地 方 債			0
	そ の 他			0
	一 般 財 源	216,608		216,608
令和5年度その他財源内訳				

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：子ども総合センター

事業名称	中事業 養育費に関する公正証書等作成支援事業費	予算区分	款 民生費 項 児童福祉費 目 母子福祉費 大事業 母子家庭等自立支援給付事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	子育て家庭への支援サービスの充実	
事業目的				
子どもの生活、成長を支える養育費の取り決め内容の継続した履行確保を図ることを目的とし、養育費の取り決めに関する公正証書の作成等にかかった費用に対し補助を行う。				
主な事業内容				
桑名市内在住のひとり親家庭の母親又は父親で、現に対象となる児童を扶養している者に対し、養育費の取り決めに関する公正証書の作成等について、かかった経費のうち本人の負担分について、3万円を上限として補助を行う。 ・公正証書作成費用等補助 450千円 ・郵送料 2千円				
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。			計画年度	
令和5年4月:補助要綱等作成 令和5年7月:事業開始予定 ＜先進市＞ 神奈川県や秋田県など全国で多数あり ・養育費にかかる相談支援、養育費に関する公正証書等作成支援(公正証書等作成費用補助)			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予算額(単位:千円)				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		452		452
財源内訳	国支出金	226		226
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	226		226
	一般財源			0
令和5年度その他財源内訳		子ども応援基金繰入金 226千円		

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：子ども未来課

事業名称	中事業 IoT保育管理事業費	予算区分	款 民生費 項 児童福祉費 目 保育所費 大 事業 DX(デジタルトランスフォーメーション)推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	就学前の教育・保育の充実	
事業目的				
保育現場でICTを積極的に活用し、保育所利用者へのサービスの向上を図るとともに、保育士の業務負担を軽減し、より充実した保育を提供することを目的とする。				
主な事業内容				
保育業務が多岐にわたる中、ICTを全ての公立保育所に導入・拡充し、園児毎の登園管理、保育日誌、保護者との連絡、資料作成等に活用する。				
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。			計画年度	
令和5年4月 公立保育所職員向けにアプリ活用方法の研修を実施 令和5年4月 公立保育所を利用中の保護者向けにアプリのダウンロード及び説明会を実施 令和5年4月～ 保育所ICT環境整備、機器調達 令和5年6月～ 本アプリの活用			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予算額(単位:千円)				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		24,012	1,454	22,558
財源内訳	国支出金	2,500		2,500
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	11,512	1,454	10,058
	一般財源	10,000		10,000
令和5年度その他財源内訳		子ども応援基金繰入金 11,512千円		

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：保健医療課

事業名称	中事業 病院事業運営費負担金	予算区分	款 衛生費 項 保健衛生費 目 保健衛生総務費 大事業（地独）桑名市総合医療センター経費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	命を守ることが最優先	地域医療・健康づくり	救急医療体制の整備および充実	
事業目的				
地方独立行政法人である桑名市総合医療センターが実施する高度医療、救急医療、小児医療等の病院運営経費の一部について、設立団体である市が負担することにより、桑名市総合医療センターの経営の適正化を図り、市民への医療提供体制の向上に繋げる。				
主な事業内容				
地方独立行政法人法第85条に基づき、桑名市総合医療センターの高度医療、救急医療、小児医療等に係る費用について、設立団体である市が負担する。 ○負担金 ・令和4年度普通交付税算入分：642,507千円 ・令和3年度特別交付税算入分：63,614千円				
事業進捗状況（予定）等			計画年度	
平成21年10月1日に桑名市民病院が地方独立行政法人となり、市が示した中期目標に基づき、中期計画、年度計画を作成し、より効率的な経営を行うとともに、病院運営の充実に取り組んでいるところであり、病院事業運営費負担金により、効果的な病院運営の推進が図られる。			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予算額（単位：千円）				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		706,121	804,641	▲ 98,520
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	706,121	804,641	▲ 98,520
令和5年度その他財源内訳				

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：保健医療課

事業名称	中事業 成人帯状疱疹予防接種助成事業費	予算区分	款 衛生費 項 保健衛生費 目 予防費 大事業 予防接種事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	命を守ることが最優先	地域医療・健康づくり	感染症の予防およびまん延防止	
事業目的				
強い痛みを伴うことが多い帯状疱疹は50歳以上で発症率が上昇し、80歳までに約3人に1人が罹患する。また、発症すると帯状疱疹後神経痛や合併症で長期間にわたり痛みが続くことがある。帯状疱疹のワクチン接種に係る費用の一部を助成することにより、接種しやすい環境を整え、発症率の高くなる50歳以上の方の発症及び重症化を予防する。				
主な事業内容				
○50歳以上の市民を対象に、指定医療機関にて個別接種を行う。 ・対象者:桑名市に住民登録があり接種日時点で満50歳以上の接種希望者 ・接種期間:通年 ・助成額:帯状疱疹ワクチン(不活化ワクチン) 4,000円／回 水痘ワクチン(生ワクチン) 2,000円／回				
事業進捗状況(予定)等			計画年度	
令和5年4月～:医師会委託契約 帯状疱疹・水痘ワクチン接種事業実施			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予 算 額 (単位:千円)				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		5,413		5,413
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	5,413		5,413
令和5年度その他財源内訳				

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：子ども総合センター

事業名称	中事業 新生児聴覚スクリーニング検査事業費	予算区分	款 衛生費 項 保健衛生費 目 保健センター費 大事業 母子保健衛生事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	命を守ることが最優先	地域医療・健康づくり	母子保健の推進	
事業目的				
聴覚障害は早期に発見され適切な支援を行うことで、聴覚障害による音声言語発達等への影響が最小限に抑えられることから、新生児を対象として新生児聴覚検査を実施するための体制整備を進め、聴覚障害の早期発見・早期療育を図る。				
主な事業内容				
新生児聴覚スクリーニング検査を受けた新生児に対し、費用助成を行う。 ・対象児 新生児聴覚スクリーニング検査を受けた新生児 ・受診回数 新生児一人につき1回 ・助成金額 上限3,000 円／回 ※桑名市新生児聴覚スクリーニング検査費用助成事業要綱(令和2年4月1日施行)では、市民税非課税世帯又は生活保護受給世帯の者に対する費用助成を行っているが、この対象者を拡大する。 ・検査委託料2,400千円 ・システム改修費1,551千円 ・検査費助成600千円 ・その他121千円				
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。			計画年度	
・令和5年4～6月 対象者の拡大に伴う事務効率化に向けた検討、事業要綱の改正 ・令和5年7月 事業周知、受診券印刷及び発送 ・令和5年8月 費用助成開始			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予 算 額 (単位:千円)				
事業費		5 年 度 当 初	4 年 度 当 初	増 減 額
計		4,672		4,672
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	4,672		4,672
令和5年度その他財源内訳				

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：環境対策課

事業 名称	中事業 埋立最終処分場環境整備事業費	予算 区分	款 衛生費 項 清掃費 目 塵芥処理費 大事業 東汰上埋立最終処分場等事業費
総合計画の 体系	ビジョン 命を守ることが最優先	基本計画 環境・廃棄物対策	基本事業 廃棄物の適正な処理
事業目的			
桑名市一般廃棄物埋立最終処分場計画書に基づき、埋立最終処分場の外周に擁壁を設置することで、周辺の道路及び田畑への土砂等の流出等の危険性を排除し、安全で適正な施設管理を継続する。			
主な事業内容			
桑名市一般廃棄物埋立最終処分場の適正管理の推進と収容能力の向上を図るため、令和3年度に作成した擁壁設置工事実施計画に基づき、令和4年度及び令和5年度に擁壁設置工事を行う。 ・施工施設 桑名市一般廃棄物埋立最終処分場 ・施工場所 桑名市大字東汰上598番地			
事業進捗状況(予定)等			計画年度
・桑名市一般廃棄物埋立最終処分場擁壁設置工事 129,703千円 ・周辺地域家屋等調査(工事施工後) 7,000千円			R5
			✓
			R6
			R7
予算額(単位:千円)			
事業費		5年度当初	4年度当初
計		136,703	126,653
財 源 内 訳	国支出金	43,234	40,383
	県支出金		
	地方債	77,800	72,600
	その他		13,670
	一般財源	15,669	
令和5年度その他財源内訳			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：商工課

事業名称	中事業 移住支援事業補助金	予算区分	款 項 目 大事業	労働費 労働諸費 労働諸費 雇用安定事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	桑名をまちごとブランドに	工業	中小企業の振興と競争力向上		
事業目的					
三重県と共同で作成した地域再生計画に基づき、移住にかかる経費の負担軽減を図ることで、桑名市内における移住・定住の促進及び中小企業等における人手不足の解消を図る。					
主な事業内容					
東京圏から桑名市へ、三重県と共同して行う移住・就業マッチング支援事業を活用し、移住・就業する場合や、「テレワーカー」が移住する場合、「専門人材」が移住・就業する場合を対象に、予算範囲内において移住支援金を交付する。					
＜移住支援補助金額＞ ・単身世帯 60万円(県支出金45万円) ・2人以上の世帯 100万円(県支出金75万円) ・子育て世帯加算 18歳未満の世帯員を帯同して移住する場合 100万円／人(県支出金75万円) (令和5年4月1日以降の転入者。令和5年3月31日までの転入者は30万円／人(県支出金22.5万円))					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
・令和元年度:県によるマッチングサイト掲載企業募集開始 県によるマッチングサイト運用開始 ・令和2年度:移住支援補助金制度開始 ・令和3年度:支給対象要件拡大(テレワーカー、専門人材等) ・令和4年度:支給対象要件拡大(子育て世帯加算) ・令和5年度:支給金額増額(子育て世帯加算増額) ＜交付実績＞ ・令和4年度 1件				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		3,000	2,000	1,000	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金	2,250	1,500	750	
	地方債			0	
	その他			0	
	一般財源	750	500	250	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：農林水産課

事業名称	中事業 有害鳥獣等対策事業費	予算区分	款 農林水産業費 項 農林水産業費 目 農林水産業振興費 大事業 農業振興費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	桑名をまちごとブランドに	農林業	有害鳥獣対策の推進および強化	
事業目的				
野生獣等による農作物の被害防止活動として、桑名支部猟友会の協力を得て、捕獲・駆除を行いながら、地域の方による追払いや駆除への参加、電気柵や侵入防止柵の設置を勧める等、地域住民による自己防衛を促す。				
主な事業内容				
・桑名支部猟友会員とシカ・イノシシを対象にした捕獲・駆除業務を委託する。(4月～10月) ・有害獣駆除期間終了後も、桑名支部猟友会と協定を交わし、積極的な捕獲活動を行ってもらうことで、有害獣の生息数を減らす。(11月～3月) ・外来生物駆除委託者と狩猟免許所持職員による中～小型の有害獣捕獲・駆除(4月～3月) ・地域住民に狩猟免許の取得を促し、捕獲従事者の増を図る。 ・駆逐用煙火や電動ガン用BB弾の配付を行い、地域住民と共同で獣被害の防止を図る。 ・ジャンボタニシによる農作物被害を防ぐため、駆除用薬剤の購入費用を一部負担する。 ・猟銃(空気銃)及び公用車(買い替え)を含む獣害対策備品の購入				
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。			計画年度	
・桑名支部猟友会員とシカ・イノシシを対象にした捕獲・駆除業務を委託する。(4月～10月) ・有害獣駆除期間終了後も、桑名支部猟友会と協定を交わし、積極的な捕獲活動を行ってもらうことで、有害獣の生息数を減らす。(11月～3月) ・外来生物駆除委託者、狩猟免許所持職員による中～小型の有害獣捕獲・駆除(4月～3月) ・地域住民に狩猟免許の取得を促し、捕獲従事者の増を図る。 ・駆逐用煙火の配付や補修用の柵を提供する等、地域住民と共同で獣被害の防止を図る。 ・ジャンボタニシによる農作物被害を防ぐため、駆除用資材の購入費用を一部負担する。			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予算額(単位:千円)				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		18,265	18,783	▲ 518
財源内訳	国支出金			0
	県支出金	920	1,584	▲ 664
	地方債			0
	その他	17,345	17,199	146
	一般財源			0
令和5年度その他財源内訳		ふるさと応援基金繰入金 17,345千円		

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：農林水産課

事業名称	中事業 竹資源循環創出推進事業費	予算区分	款 項 目 大事業	農林水産業費 農林水産業費 農林水産業振興費 SDGs推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	桑名をまちごとブランドに	農林業	桑名ブランドの推進		
事業目的					
市内の放置竹林の整備を進めることで、タケノコの生産量を増やし、同時に整備のために伐採した竹そのものを資源に変えるべく新たな循環システムを構築し、一次産業者の所得向上と新たな担い手の創出を行う。経済活動の促進のみならず、防災、自然環境保護、獣害対策等に繋げることで、市民の豊かな生活に寄与する。 また、産官学等で協力して事業を展開することで、SDGsの推進に寄与する。					
主な事業内容					
①竹林整備を支援する。(市内放置竹林1.5haの整備) ②桑名竹取物語事業化協議会の運営補助をする。協議会において事業の検討と決定をし、具体的な取り組みを実施する。 ・竹資源の生産の支援(竹・タケノコの収集を促進) ・新製品研究開発の支援(三重大学協力のもと竹資源の新たな製品を開発する) ・新製品のPR・販路開拓の支援 ③桑名工業高校とNPO法人桑竹会の課題研究事業を支援する。 ④竹材を活用した備品等の市施設への導入を支援する。 ※一般財源のうち、15,612千円は森林環境譲与税を充当					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
・NPO法人桑竹会に市内の放置竹林の整備を委託 令和5年度予定整備面積:1.5ha(令和元年～令和4年度累計:6.0ha) ・桑名竹取物語事業化協議会の活動を支援 民間主導で設立された桑名竹取物語事業化協議会により、令和3年度から事業への具体的な取組が始まった。令和5年度以降も各分野別に取組が進み、本格的な事業に向けた製品開発や販路開拓、企業誘致等が予定されている。 ・桑名工業高校とNPO法人桑竹会の課題研究を実施 生徒の地域課題解決能力の向上が図られており、今後も課題研究への取組を支援する。				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		15,787	13,406	2,381	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金		4,931	▲ 4,931	
	地方債			0	
	その他			0	
	一般財源	15,787	8,475	7,312	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：農林水産課

事業名称	中事業 山林整備事業費	予算区分	款 項 目 大事業	農林水産業費 農林水産業費 農林水産業振興費 山林管理費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	桑名をまちごとブランドに	農林業	桑名ブランドの推進		
事業目的					
NTN多度山ハイキングコースは土砂崩れ等により、落石の恐れや一部通行の妨げとなっている箇所がある。本事業により、当該箇所の補修、整備を行い、安全面の確保、環境保全につなげ、来訪者の増加につなげる。令和5年度においては今後の整備・補修を円滑に行うため、未舗装箇所の舗装工事を重点的に実施する。					
主な事業内容					
みえ森と緑の県民税市町交付金及び同基金を活用し、NTN多度山ハイキングコースの整備を行うため、整備・補修工事を実施する。					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
NTN多度山ハイキングコース整備のための工事(路面舗装・補修、危険木の伐採、落石防止対策等)を実施する。				R5	✓
				R6	
				R7	
予 算 額 (単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		31,207		31,207	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金	13,531		13,531	
	地方債			0	
	その他	17,676		17,676	
	一般財源			0	
令和5年度その他財源内訳		みえ森と緑の県民税市町交付金基金繰入金 17,676千円			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：農林水産課

事業名称	中事業 土地改良事業費	予算区分	款項目 農林水産業費 農林水産業費 農地総務費 大事業 市単事業	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	桑名をまちごとブランドに	農林業	農業生産基盤の強化および整備	
事業目的				
安定的な農業経営の持続のため農業基盤を保全・整備する。				
主な事業内容				
用排水路・農道等の各種農業用施設を対象に、緊急対応が必要とされる施設や、各地区より要望があった施設について、現地調査を実施し、更新・改修等の方針を検討した上で、安全に、また効果的に事業を実施する。 ・用排水路等維持改修工事 ・農道等維持改修工事 ・揚排水施設改修工事				
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。			計画年度	
・各地区要望を基に現地確認を行い優先順位をつけ事業を推進していく。 ・農道坂井7号線道路改良工事 ・地元農家主導の事業をサポートする。			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予算額（単位:千円）				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		20,000	16,000	4,000
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	2,000	2,000	0
	一般財源	18,000	14,000	4,000
令和5年度その他財源内訳		ふるさと・水と土保全基金繰入金 2,000千円		

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：農林水産課

事業名称	中事業 土地改良施設維持管理適正化事業費	予算区分	款 項 目 大事業	農林水産業費 農林水産業費 農地総務費 土地改良施設維持管理適正化事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	桑名をまちごとブランドに	農林業	農業生産基盤の強化および整備		
事業目的					
土地改良施設(頭首工、ポンプ場、樋門、溜池、水路等)の整備補修により、機能低下を回復し適正な維持管理を図る。					
主な事業内容					
令和5年度工事箇所 ＜桑名＞ ・東金井揚水機場、矢田揚水機場、今島排水機場 ＜多度＞ ・七取新排水機場、福永排水機場 ＜長島＞ ・第2長島排水機場、新千倉排水機場 ※事業負担割合:国30%、県30%、市40% ・各土地改良区が実施する適正化事業に対する負担金					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
工事箇所 令和6年度 播磨揚水機場 令和7年度 今島排水機場、城南排水機場				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		107,698	38,767	68,931	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他	69,100	15,300	53,800	
	一般財源	38,598	23,467	15,131	
令和5年度その他財源内訳		土地改良施設維持管理適正化事業交付金 69,100千円			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：農林水産課

事業名称	中事業 多面的機能支払交付金事業費	予算区分	款 項 目 大事業	農林水産業費 農林水産業費 農地総務費 多面的機能支払交付金事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	桑名をまちごとブランドに	農林業	農業生産基盤の強化および整備		
事業目的					
多面的機能支払交付金を財源として、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進する。					
主な事業内容					
農地維持支払交付金及び資源向上支払交付金に係る活動について、事業計画の認定を受けた活動組織に対し、対象面積に応じた交付金を支払う。 国負担分(1／2)、県負担分(1／4)及び市負担分(1／4)を合わせて活動組織に交付する。					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
多面的機能支払交付金を活動組織に交付することで、水路の泥上げや農道の路面維持等の基礎的保全活動といった多面的機能を支える地域活動を支援するほか、水路・農道等の軽微な補修、景観形成等の農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動の支援等を行う。				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		63,510	63,843	▲ 333	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金	47,695	47,906	▲ 211	
	地方債			0	
	その他			0	
	一般財源	15,815	15,937	▲ 122	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：農林水産課

事業名称	中事業 湛水防除事業費	予算区分	款 項 目 大事業	農林水産業費 農林水産業費 農地総務費 国土強靱化推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	桑名をまちごとブランドに	農林業	農業生産基盤の強化および整備		
事業目的					
農作物や農業用施設、一般家庭、公共・公益施設等を湛水被害から未然に防止するため排水機場の新設又は改修等を行う。					
主な事業内容					
三重県が主体で行う県営事業 ・工事費:下深谷地区(下深谷排水機場) ・工事費:福豊地区(福豊排水機場) ・実施計画:野代地区(野代排水機場) (国55%、県35%、市10%) ・県単堆積土砂撤去:七取排水機場・松蔭東排水機場他 三重県が主体で行う県営事業(排水機場更新)に基づく更新事業計画書作成 ・事業計画:千倉排水機場(国100%)					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
県営事業 令和6年度 下深谷地区・福豊地区・野代地区:更新工事、松蔭地区・稗田地区:実施計画 ・県単堆積土砂撤去:桑深排水機場・葭ヶ須排水機場他 令和7年度 下深谷地区・福豊地区・野代地区・松蔭地区・稗田地区:更新工事、千倉地区:実施計画				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		118,313	39,400	78,913	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金	13,000	16,200	▲ 3,200	
	地方債	99,900	21,500	78,400	
	その他			0	
	一般財源	5,413	1,700	3,713	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：農林水産課

事業名称	中事業 ため池等整備事業費	予算区分	款 項 目 大事業	農林水産業費 農林水産業費 農地総務費 国土強靱化推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	桑名をまちごとブランドに	農林業	農業生産基盤の強化および整備		
事業目的					
農業用ため池の決壊・漏水による、農作物や農業用施設、一般家庭、公共・公益施設等の洪水被害を未然に防止するため改修を行う。					
主な事業内容					
<馬の頭地区> ・三重県が主体で行う県営事業 令和5年度 事業費 38,000千円(馬の頭新ため池・馬の頭ため池) 事業負担割合:国55%、県35%、市10% ・上深谷ため池群事業計画書作成(口ため池・中ため池・奥ため池) 事業負担割合:国100%					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
ため池改修事業計画書作成 ・令和6年度 目細ため池・駒ヶ谷ため池(県営事業着手) ・令和7年度 口ため池・中ため池・奥ため池(県営事業着手)				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		13,170	47,150	▲ 33,980	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金	12,000	19,900	▲ 7,900	
	地方債	800	26,800	▲ 26,000	
	その他			0	
	一般財源	370	450	▲ 80	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：商工課

事業名称	中事業 スタートアップ共創推進事業費	予算区分	款 項 目 大事業	商工費 商工費 商工業振興費 ブランド推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	桑名をまちごとブランドに	その他	その他		
事業目的					
新たなビジネス領域での活躍が期待されるスタートアップとの共創を推進することで、市内事業者の新たな収益の柱を創出し、持続可能な経営を支援するとともに、本市の社会的課題の解決や市民サービスの向上、地域価値の増進を図る。					
主な事業内容					
＜スタートアップ共創推進＞ ・アセット(リソース)の可視化、戦略・ビジョンの策定を行う。 ＜高度デジタル人材育成推進＞ ・身近な困りごとや課題を解決するツールとして、プログラミングやアプリケーション開発を行いながら、将来のスタートアップ人材の育成を図る。					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
＜スタートアップ共創推進＞ ・地域の情報(課題・事業者・プレイヤー)の調査 ・外部専門家会議の運営、テーマ検討ワークショップ ・ビジネスコンテスト等イベント開催 ・情報発信 ＜高度デジタル人材育成推進＞ ・市内中学生を対象とした、プログラミング講座やスマートフォンアプリの開発講座開催				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		10,868		10,868	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他	10,868		10,868	
	一般財源			0	
令和5年度その他財源内訳		ふるさと応援基金繰入金 8,868千円、産業振興基金繰入金 2,000千円			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：商工課

事業名称	中事業 企業等誘致奨励金	予算区分	款 項 目 大事業	商工費 商工費 商工業振興費 商工業振興事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	桑名をまちごとブランドに	工業	企業誘致の推進		
事業目的					
桑名市における企業及び研究所等の立地を促進するために必要な奨励措置を行うことにより、本市の産業構造の高度化及び多様化を促すとともに、市内の中小企業の振興を図り、産業の健全な発展と市勢の進展に寄与する。					
主な事業内容					
多度第2工業団地、多度第3工業団地等に立地(増設)した民間企業に対して、企業立地奨励金を交付する。 ＜固定資産税相当額に対する助成＞ ・期間:3年間 ・限度額:3億円 ・税額に対する補助割合:1年目100%、2年目75%、3年目50% ・令和5年度交付予定:4社(2年目3社、3年目1社)					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
・交付実績 平成30年度:2社 32,300千円 令和元年度:3社 29,400千円 令和2年度:3社 21,028千円 令和3年度:4社 28,313千円 令和4年度:5社 47,499千円				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		37,414	47,499	▲ 10,085	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他	37,414	47,499	▲ 10,085	
	一般財源			0	
令和5年度その他財源内訳		ふるさと応援基金繰入金 37,414千円			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：観光課

事業名称	中事業 桑名水郷花火大会開催事業費	予算区分	款 項 目 大事業	商工費 商工費 観光費 ブランド推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	桑名をまちごとブランドに	プロモーション活動	観光事業の魅力向上		
事業目的					
昨今の社会情勢の影響で、花火大会の会場設営経費や警備費用が高騰している中で、さらにコロナ禍での対策も考慮しつつ、安全・安心に花火大会を開催する。					
主な事業内容					
会場設営等の主な業務委託の状況 ・会場の設営 令和元年度実績 9,000千円 令和5年度計画 17,000千円 +8,000千円(対比188%) ・会場受付、設営運搬人員の手配 令和元年度実績 7,000千円 令和5年度計画 10,000千円 +3,000千円(対比142%) ・警備員の配置 令和元年度実績 2,320千円 令和5年度計画 3,350千円 +1,030千円(対比144%) 約12,000千円増 ※令和5年度計画においては、コロナ対策による追加費用・物価高騰による経費の増加を加味している。					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
・令和2、3年 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で中止 ・令和4年7月 コロナ禍のイベント開催基準により、5,000人に制限して開催 ・令和5年4～5月 桑名市観光協会総会にて開催日等を決定(予定) ・令和5年7月 桑名水郷花火大会の開催(予定)				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		19,200		19,200	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他			0	
	一般財源	19,200		19,200	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：観光課

事業名称	中事業 多度山快適性向上整備事業費	予算区分	款 項 目 大事業	商工費 商工費 観光費 多度山上公園等管理運営費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	桑名をまちごとブランドに	プロモーション活動	観光事業の魅力向上		
事業目的					
多度山は年間10万人以上の人々が訪れている、本市の重要な観光資源である。多度山上公園に自然エネルギーを利用した循環型トイレの設置や、多度山上公園等の維持管理に関する包括的な業務委託により、公園利用者の安全性及び快適性の向上に取り組んでいる。今後、多度山登山者のさらなる快適性の向上に資するため、ハイキングコースにある見晴台の修復等を進める。					
主な事業内容					
ONTN多度山ハイキングコース(眺望満喫コース)の見晴台5か所の整備 ・老朽化設備の改修、補修 ・見晴台案内看板の設置					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
・令和6～7年度 NTN多度山ハイキングコース等の快適性及び魅力向上のための整備				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		11,511		11,511	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他	11,511		11,511	
	一般財源			0	
令和5年度その他財源内訳		桑名市みえ森と緑の県民税市町交付金基金繰入金 11,511千円			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：観光課

事業名称	中事業 観光誘客推進事業費	予算区分	款 項 目 大 事 業	商工費 商工費 観光費 観光振興事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	地理的優位性を活かした元気なまち	中心市街地	都市交流拠点の整備		
事業目的					
令和2年8月に桑名駅の東西自由通路が供用開始され、今後も周辺施設などの整備工事が進められる。桑名駅が“観光の顔”としてふさわしいものとなるようにぎわいづくりに努める。また、地域活性化に向けた事業を関係機関や、観光協会、商工会議所、地域の経済団体等と連携しながら進めていく。					
主な事業内容					
駅前工事の進捗状況を見ながら、人々の活気が感じられる場所とし、観光協会や地域の経済団体等と連携し、街路樹等を活用してイルミネーションを実施する。					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
・令和3年度実績 駅前イルミネーションの設置(令和3年10月27日～令和4年3月11日) ・令和4年度 駅周辺等イルミネーションの設置(令和4年10月28日～令和5年2月28日予定) ・令和5～7年度 駅周辺等イルミネーションの設置				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		4,350	4,350	0	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他	4,350	4,350	0	
	一般財源			0	
令和5年度その他財源内訳		ふるさと応援基金繰入金 4,350千円			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：観光課

事業名称	中事業 桑名ファンクラブ拡大事業費	予算区分	款 項 目 大事業	商工費 商工費 観光費 人口減少対策事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画		基本事業	
	桑名をまちごとブランドに	プロモーション活動		桑名ブランドの推進	
事業目的					
人口減少対策として、本市の認知度向上を通じて、市への移住の裾野を拡大させるため、桑名ファンクラブを設立し、関係人口の拡大を図ることを目的とする。					
主な事業内容					
1. ファンクラブ会員登録 市外在住の方には、桑名ファンクラブの会員登録をいただく。 2. 特典 (1)登録者全員に300円のデジタルギフトがプレゼントされる。 (2)桑名のイベント、お得な情報等が定期的に配信される。 (3)年間数回、抽選で桑名の特産品、宿泊、買い物クーポン等が当たるプレゼント企画に参加できる。 桑名ファンクラブの方には、今まで知らなかった桑名を知ってもらい、さらなる来訪機会を増やす等、桑名との関係を深めてもらうことに繋げていく。					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
令和6～7年度 桑名ファン獲得に向け、継続的に運営を行う。 ・令和6年度 約3,900千円(予定) ・令和7年度 約3,900千円(予定)				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		5,483		5,483	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他			0	
	一般財源	5,483		5,483	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：土木課

事業名称	中事業 狭あい道路整備等促進事業費	予算区分	款 土木費 項 土木管理費 目 土木総務費 大事業 国土強靱化推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	地理的優位性を活かした元気なまち	道路	生活道路などの整備	
事業目的				
幅員4m未満の道路(建築基準法第42条第2項道路)等の「狭あい道路」は、十分な幅員がある道路に比べて車や人がすれ違う際の危険性が高く、緊急時の避難・救助活動が遅れる原因となってしまう可能性がある。こういった「狭あい道路」を解消するため、敷地の一部を道路として広げ、防災性に優れた安全な住宅市街地の形状と居住環境の向上を図る。				
主な事業内容				
令和5年度事業費 (内訳) 分筆測量費・除去費等 3,000千円 報償金等 3,000千円 道路整備費等 4,300千円 需用費(境界標、旅費等) 100千円				
事業進捗状況(予定)等			計画年度	
令和5年度:報償金・分筆測量費補助他 10,400千円(予定) 令和6年度:報償金・分筆測量費補助他 10,400千円(予定) 令和7年度:報償金・分筆測量費補助他 10,400千円(予定) ※令和8年度以降も継続して事業を行う。			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予算額(単位:千円)				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		10,400	10,400	0
財源内訳	国支出金	5,000	5,000	0
	県支出金			0
	地方債	4,500	4,500	0
	その他			0
	一般財源	900	900	0
令和5年度その他財源内訳				

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：土木課

事業名称	中事業 急傾斜地崩壊対策事業	予算区分	款 土木費 項 土木管理費 目 土木総務費 大事業 国土強靱化推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	命を守ることが最優先	防災	防災対策および災害対策機能の強化	
事業目的				
降雨等により崖崩れが懸念される非常に危険な急傾斜地に、擁壁、法枠等を施工することにより、崩壊危険個所における民家及び公共施設への影響を未然に防止する。緊急対応が必要な地区については対策工事を施工する。				
主な事業内容				
事業主体は三重県であり、桑名市は負担金を支払う。 上野地区 総延長 1,100m ・工事費(一工区) 三重県事業費 100,000千円 ※桑名市は上記事業費の20%を負担 20,000千円 東方地区 総延長 30m ・測量、設計費 三重県事業費 10,000千円 ※桑名市は上記事業費の20%を負担 2,000千円				
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。			計画年度	
上野地区 ・令和5年度:対策工事 ・令和6年度:対策工事 ・令和7年度:令和6年度の進捗状況に応じ調整 東方地区 ・令和5年度:測量・設計 ・令和6年度:用地測量・対策工事 ・令和7年度:対策工事			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予算額(単位:千円)				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		22,000	22,400	▲ 400
財 源 内 訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債	20,000	20,400	▲ 400
	その他			0
	一般財源	2,000	2,000	0
令和5年度その他財源内訳				

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：都市整備課

事業名称	中事業 空き家対策総合支援事業費	予算区分	款 土木費 項 土木管理費 目 土木総務費 大事業 国土強靱化推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	命を守ることが最優先	防災	市民・企業などの自助・共助の災害対策促進	
事業目的				
平成27年に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が完全施行され、本市では平成29年に「桑名市空家等指導要綱」を策定し、適切な管理等が行われていない空家等から発生する問題の解消に向け啓発、指導等を行っている。住宅・土地統計調査では、本市の住宅総数と世帯数及び人口動向より今後空家等が増加することが想定され、所有者等に指導するも対応されず近隣に悪影響を及ぼしている空家等や昨今の大雨などにより劣化が加速し、突如崩れ落ちる空家等が増加しており、空家等対策の強化が必要となる。				
主な事業内容				
近隣に悪影響を与えている特定空家等の所有者等に対し、除却費用の一部を補助し所有者等の責務で空家等の解消を実施させるための手段として、令和5年度より空家等総合支援事業を活用した桑名市空家等総合支援事業を策定し特定空家等の除却を促進させる。				
特定空き家除却工事 1,500千円（上限300千円 × 5件）				
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。			計画年度	
令和5年度、6年度の2か年計画 ・令和5年度 1,500千円（上限300千円 × 5件） ・令和6年度 1,500千円（上限300千円 × 5件）(予定)			R5	✓
			R6	✓
			R7	
予 算 額（単位:千円）				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		1,500		1,500
財 源 内 訳	国支出金	750		750
	県支出金	375		375
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	375		375
令和5年度その他財源内訳				

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：土木課

事業名称	中事業 道路ストック対策事業費	予算区分	款 土木費 項 道路橋りょう費 目 道路新設改良費 大事業 道路新設改良事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	地理的優位性を活かした元気なまち	道路	道路舗装、付属施設の維持管理	
事業目的				
道路ストック総点検に基づき、今後の老朽化に備え、計画的な維持管理及び補修を行い、円滑な通行と安全確保を図る。				
主な事業内容				
既存の舗装構成をレベルアップすることにより、長寿命化を図る。 ・七和員弁川提線：L= 370m 舗装工 35,000千円（交付率 50%、交付対象額 34,000千円） ・福島深谷線 :L= 1,090m 舗装設計 2,500千円（交付率 50%、交付対象額 2,000千円）				
事業進捗状況（予定）等 ※事業内容は、今後変更することがあります。			計画年度	
令和5年度 七和員弁川提線（舗装工）、福島深谷線（舗装設計） 令和6年度 七和員弁川提線（舗装工）、福島深谷線（舗装工） 令和7年度 七和員弁川提線（舗装工）、福島深谷線（舗装工）			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予算額（単位：千円）				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		37,500	41,600	▲ 4,100
財源内訳	国支出金	18,000	20,000	▲ 2,000
	県支出金			0
	地方債	16,200	18,000	▲ 1,800
	その他			0
	一般財源	3,300	3,600	▲ 300
令和5年度その他財源内訳				

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：土木課

事業名称	中事業 安全対策事業費	予算区分	款 土木費 項 道路橋りょう費 目 道路新設改良費 大事業 道路新設改良事業費		
総合計画の体系	ビジョン	基本計画		基本事業	
	命を守ることが最優先	防犯・交通安全		安全かつ快適な交通環境の整備	
事業目的					
大規模な住宅開発により、通勤・通学にとまなう交通量の増加が見込まれる地域において、通学路の安全対策を行う。					
主な事業内容					
通学路等の歩道設置工事により交通安全対策を行い、令和7年度完了を目指す。 ・高塚町8号線外:カラー舗装工 L=200m 5,000千円（交付率 55%、交付対象額 4,500千円）					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
・令和5年度:高塚町8号線外 ・令和6年度:高塚町8号線外 ・令和7年度:高塚町8号線外				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額（単位:千円）					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		5,000	4,500	500	
財源内訳	国支出金	2,475	2,200	275	
	県支出金			0	
	地方債	1,800	1,600	200	
	その他			0	
	一般財源	725	700	25	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：土木課

事業名称	中事業 スマートインターチェンジ推進事業費	予算区分	款 土木費 項 道路橋りょう費 目 道路新設改良費 大事業 道路新設改良事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	地理的優位性を活かした元気なまち	道路	幹線道路などの整備	
事業目的				
都市計画マスタープランに位置づけられた、多度地域の南部やインターチェンジ周辺の産業誘導ゾーンへの企業立地をサポートする広域交通網の充実や都市内幹線道路の整備を図る。				
主な事業内容				
大山田PAの周辺道路の現況調査などの広域的検討を行い、（仮称）大山田PAスマートインターチェンジの必要性を確認し、国による新規事業化の推進を図る。 令和5年度：大山田PAスマートインターチェンジ関連協議会等運営補助業務				
事業進捗状況（予定）等			計画年度	
・令和5年度 準備会・地区協議会 ・令和6年度 道路詳細設計・地質調査・用地取得 ・令和7年度 用地取得			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予 算 額（単位：千円）				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		6,300	18,000	▲ 11,700
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	6,300	18,000	▲ 11,700
	一般財源			0
令和5年度その他財源内訳		ふるさと応援基金繰入金 6,300千円		

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：土木課

事業名称	中事業 道路防災対策事業費	予算区分	款 土木費 項 道路橋りょう費 目 道路新設改良費 大事業 道路新設改良事業費		
総合計画の体系	ビジョン	基本計画		基本事業	
	地理的優位性を活かした元気なまち	道路		道路舗装、付属施設の維持管理	
事業目的					
災害の発生を予防し、又は災害の拡大を防止することを目的とする。					
主な事業内容					
起債事業(緊急自然災害防止対策事業債):舗装修繕工、側溝修繕工 ・大山田星川線 :L=500m 23,000千円 ・桑部志知線 :L=300m 11,000千円 ・成徳町1号線外 :L=220m 10,000千円 起債事業(合併特例事業債):舗装修繕工 ・坂井多度線 :L=730m 90,000千円 ・桑名中央線 :L=380m 67,000千円 ・源部外面駒江東西線外:L=315m 17,000千円					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
令和5年度(緊急自然災害防止対策事業債、合併特例事業債):舗装修繕工、側溝修繕工 令和6年度(緊急自然災害防止対策事業債、合併特例事業債):舗装修繕工、側溝修繕工 令和7年度(緊急自然災害防止対策事業債):舗装修繕工、側溝修繕工				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		218,000	34,100	183,900	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債	209,300	34,100	175,200	
	その他			0	
	一般財源	8,700		8,700	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：新たな学校づくり課

事業名称	中事業 市道天王平1号線	予算区分	款 土木費 項 道路橋りょう費 目 道路新設改良費 大事業 道路新設改良事業費					
総合計画の体系	ビジョン	基本計画		基本事業				
	こどもを3人育てられるまち	学校教育		教育環境の整備				
事業目的								
歩行者の安全確保のため現道を拡幅し、車道と歩道を分離する。								
主な事業内容								
・文化財調査費 32,230千円 ・用地購入、物件補償 8,306千円 ・その他(設計委託料、登記手数料など) 9,363千円								
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。					計画年度			
令和4年度 道路拡幅部分の不動産鑑定や用地測量 令和5年度 道路拡幅部分の埋蔵文化財調査や詳細設計、用地買収及び物件補償					R5	✓		
					R6	✓		
					R7			
予算額 (単位:千円)								
事業費		5年度当初		4年度当初		増減額		
計		49,899				49,899		
財源内訳	国支出金						0	
	県支出金						0	
	地方債		16,700				16,700	
	その他						0	
	一般財源		33,199				33,199	
令和5年度その他財源内訳								

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：土木課

事業名称	中事業 橋梁長寿命化対策事業費	予算区分	款 土木費 項 道路橋りょう費 目 橋りょう維持費 大事業 橋りょう維持補修費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	地理的優位性を活かした元気なまち	道路	橋りょうの維持管理	
事業目的				
これまでの橋梁の維持管理は、主に致命的な損傷や機能不全に陥った段階で、大規模な補修や橋梁を架け替える等、事後的な補修を行っていた。今後、橋梁の老朽化が急速に増加していくことから、事後的補修では維持管理費が増大する。このため、従来の事後的補修から致命的な損傷が顕在化する前に計画的な補修及び耐震補強を実施し、長寿命化を図る。				
主な事業内容				
・設計積算：1橋 25,500千円（交付率 55%、交付対象額 25,000千円） ・法定点検：71橋 38,500千円（交付率 55%、交付対象額 32,000千円） ・修繕工事：5橋 126,000千円（交付率 55%、交付対象額 125,000千円）				
事業進捗状況（予定）等			計画年度	
・令和5年度：設計積算、法定点検、修繕工事 ・令和6年度：設計積算、法定点検、修繕工事 ・令和7年度：設計積算、法定点検、修繕工事			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予 算 額（単位：千円）				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		190,000	129,500	60,500
財源内訳	国支出金	100,100	70,125	29,975
	県支出金			0
	地方債	60,700	19,200	41,500
	その他			0
	一般財源	29,200	40,175	▲ 10,975
令和5年度その他財源内訳				

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：土木課

事業名称	中事業 緊急浚渫推進事業費	予算区分	款 項 目 大事業	土木費 河川費 河川総務費 国土強靱化推進事業	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	命を守ることが最優先	河川	管理者による改修と維持管理		
事業目的					
全国的に河川氾濫等の大規模な浸水被害が多発する中、地方団体が単独事業として緊急的に河川等の浚渫が実施できるよう、当該経費について特例措置として令和2年度からの5年間、地方債の発行が認められることが新たに地方財政計画に盛り込まれた。 そこで、この地方債を活用し、河川内に堆積した土砂及び樹木等を除却することで、円滑な流下能力を維持し、市民生活の安全・安心を確保する。					
主な事業内容					
・市管理河川各所：浚渫・樹木伐採工 6,000千円					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
・令和5年度：浚渫等工事(浚渫等) ・令和6年度：浚渫等工事(浚渫等)				R5	✓
				R6	✓
				R7	
予算額(単位：千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		6,000	12,000	▲ 6,000	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債	5,000	10,000	▲ 5,000	
	その他			0	
	一般財源	1,000	2,000	▲ 1,000	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：土木課

事業名称	中事業 河川改良事業費	予算区分	款 項 目 大事業	土木費 河川費 河川新設改良費 国土強靱化推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	命を守ることが最優先	河川	管理者による改修と維持管理		
事業目的					
河川・水路の環境保全と降雨時における冠水を防止し、市民の安全確保を行う。					
主な事業内容					
起債対象事業(緊急自然災害防止対策事業債) ・古川:河床修繕工 L=320m 10,000千円 起債対象事業(合併特例事業債) ・御砂樋管上流域河川:改良工事 66,000千円					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
起債対象事業(緊急自然災害防止対策事業債) 令和5年度:市内河川改良工事 令和6年度:市内河川改良工事 令和7年度:市内河川改良工事 起債対象事業(合併特例事業債) 令和5年度:御砂樋管上流域河川改良工事 (令和5年度完了予定)				※事業内容は、今後変更することがあります。	
				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		76,000	20,500	55,500	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債	72,700	18,900	53,800	
	その他			0	
	一般財源	3,300	1,600	1,700	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：土木課

事業名称	中事業 桑部播磨線	予算区分	款 項 目 大 事 業	土木費 都市計画費 街路事業費 街路整備事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	地理的優位性を活かした元気なまち	道路	幹線道路などの整備		
事業目的					
本路線は、桑名市を南北に縦断する幹線道路として都市計画決定を受けており、みえ朝日ICや四日市市方面へのアクセス道路となっている。自動車交通の広域的分散に貢献し、渋滞緩和や産業振興を図る重要な路線として本道路を整備する。					
主な事業内容					
当該路線の未整備区間である国道421号から桑部橋南交差点付近までを県事業で整備する。 ＜令和5年度＞ ・建設事業負担金（橋梁詳細設計・地質調査・用地取得・建物再算定） 300,000千円（県事業費） 50,000千円（市負担金） ・事業主体は三重県であり、市は負担金を支払う。（負担率＝1／6） ・総事業費：約76億円（概算） ・桑名市指定天然記念物ヒメタイコウチ移植費（事業主体は市） 12,221千円（移植費、事後調査費等）					
事業進捗状況（予定）等				計画年度	
令和5年度：橋梁下部工・用地取得・橋梁詳細設計・地質調査 令和6年度：橋梁下部工・橋梁上部工・用地取得・道路工・調整池工 令和7年度：道路工・舗装工・橋梁下部工・橋梁上部工				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予 算 額（単位：千円）					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		62,221	70,830	▲ 8,609	
財 源 内 訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債	45,000	52,000	▲ 7,000	
	その他		15,000	▲ 15,000	
	一般財源	17,221	3,830	13,391	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：土木課

事業名称	中事業 桑名北部東員線等	予算区分	款 項 目 大事業	土木費 都市計画費 街路事業費 街路整備事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	地理的優位性を活かした元気なまち	道路	幹線道路等の整備		
事業目的					
桑名北部東員線は、国道258号から都市計画道路桑名員弁線まで桑名市及び東員町を横断する幹線道路として都市計画決定を受けており、多度南部産業誘導ゾーンから東名阪自動車道や国道258号へのアクセス道路となっている。自動車交通の広域的分散に貢献し、渋滞緩和や産業振興を図る重要な路線として本道路及び、大山田播磨線を整備する。					
主な事業内容					
当該路線の未整備区間である県道四日市多度線～国道258号の整備を行う。また、民間区画整理事業に伴う桑名北部東員線及び大山田播磨線の用地を公共施設管理者負担金により取得する。 ＜令和5年度＞ 道路予備設計 約L=1,500m 橋梁予備設計 交差点予備設計 地質調査					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
令和5年度:道路予備設計、橋梁予備設計、交差点予備設計、地質調査 令和6年度:用地取得(区画整理地内)、路線測量、道路・橋梁詳細設計、地質調査、用地調査 令和7年度:用地取得(区画整理地内)、道路詳細設計(区画整理地内)、用地測量				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		23,200	21,000	2,200	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他	23,200	21,000	2,200	
	一般財源			0	
令和5年度その他財源内訳		ふるさと応援基金繰入金 23,200千円			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：土木課

事業名称	中事業 総合運動公園	予算区分	款 項 目 大事業	土木費 都市計画費 公園費 公園整備事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	桑名をまちごとブランドに	都市デザイン	緑地、緑化の保全整備		
事業目的					
総合運動公園は、陽だまりの丘に隣接し、桑名市及び広域的な周辺地域の住民利用を目的とした、子どもから高齢者までの幅広い方々のライフスタイルに応じた生涯スポーツ実践の場として平成4年6月に事業認可を受けた。 本事業では、総合運動公園について、「緑の中のスポーツ・レクリエーション」をコンセプトとして、緑豊かな自然環境を活かし、多様な利用ができる公園づくりを目指し整備を行う。					
主な事業内容					
○令和5年度総合運動公園整備事業 ＜第二工区＞桑名市大字播磨地内 事業面積：1.0ha ・工事費：51,000千円（散策路） ・委託費：3,500千円（事業認可変更業務）					
事業進捗状況（予定）等				計画年度	
・令和5年度：散策路整備工事 事業認可変更業務委託 ・令和6年度：園路整備工事 ・令和7年度：園路整備工事				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額（単位：千円）					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		54,500	11,000	43,500	
財 源 内 訳	国支出金	25,000	5,000	20,000	
	県支出金			0	
	地方債	22,500	4,500	18,000	
	その他			0	
	一般財源	7,000	1,500	5,500	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属： 駅周辺整備課

事業名称	中事業 桑名駅周辺施設整備事業費	予算区分	款 項 目 大 事 業	土木費 都市計画費 土地区画整理事業費 ブランド推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	地理的優位性を活かした元気なまち	中心市街地	都市交流拠点の整備		
事業目的					
桑名駅周辺地区整備構想及び桑名駅自由通路整備に合わせ、桑名駅周辺を再編することにより、都市機能の集積を図り、利便性・安全性の向上及び賑わいと活力ある拠点づくりを進める。					
主な事業内容					
○桑名駅東口周辺施設整備事業支援業務 業務委託 22,000千円 意見交換会運営費用 206千円 ○桑名駅東口駅前広場整備に伴う安全管理等を行う。 事業用消耗品 240千円					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
・平成30年度～：桑名駅周辺複合施設等整備事業者選定委員会開催 ・令和元年度：桑名駅周辺複合施設等整備事業プロポーザル実施による優先交渉権者決定 ・令和2年度：桑名駅周辺複合施設等整備事業に係る基本協定締結 ・令和5年度～：桑名駅周辺複合施設等整備事業に係る実施協定締結(予定)				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		22,446	20,324	2,122	
財 源 内 訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他			0	
	一般財源	22,446	20,324	2,122	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：桑名駅西整備事務所

事業 名称	中事業 土地区画整備事業費	予算 区分	款 土木費 項 都市計画費 目 土地区画整理事業費 大事業 桑名駅西土地区画整理事業費
総合計画の 体系	ビジョン 地理的優位性を活かした元気なまち	基本計画 中心市街地	基本事業 にぎわいある中心市街地の整備
事業目的			
桑名駅西土地区画整理事業区域はJR・近鉄桑名駅の西側に隣接した桑名市の玄関口であるが、駅へのアクセス道路や駅前広場が未整備で木造密集市街地が連続するなど、早急な都市基盤整備が望まれる地域である。 このため、土地区画整理事業により道路・公園・駅前広場・下水道等の公共施設を整備し、ゆとりのある生活環境の造成、駅西口への交通処理の円滑化を図る。			
主な事業内容			
○土地区画整理事業に伴う建物等移転補償を行う。 ・建物等調査積算業務等委託 40,000千円 ・建物移転等補償 1,127,712千円 ・移転補償に伴う関連工事(代替駐車場) 8,844千円 ・中断移転住宅定期建物賃借料 19,176千円 ○土地区画整理事業区域内のインフラ整備を行う。 ・道路等整備工事(都市計画道路、区画道路整備等) 265,084千円 ・道路等修正設計業務委託 11,581千円 ・工事負担金(水道工事、下水道工事、ガス工事、近鉄工事) 196,554千円			
事業進捗状況(予定)等			計画年度
※(%)は計画に対する進捗率			
令和3年度末 令和4年度末(予定) 令和5年度末(予定)			R5
換地先使用面積(㎡)	58,779(34.3%)	61,566(35.9%)	75,566(44.0%)
移転補償契約戸数(戸)	315(71.1%)	343(77.4%)	365(82.4%)
整備道路延長(m)	3,559(42.5%)	4,176(49.9%)	4,747(56.7%)
○西口駅前線及び蛸塚益生線等の桑名駅西口へのアクセス道路を中心に整備を進めるとともに、桑名中央東員線以南では、蛸塚益生線を軸とした建物等移転と道路整備を進め、事業進捗を図る。			R6
			R7
予算額(単位:千円)			
事業費	5年度当初	4年度当初	増減額
計	1,747,583	2,187,188	▲ 439,605
財 源 内 訳	国支出金	330,900	437,205
	県支出金		0
	地方債	924,200	1,285,400
	その他	4,997	4,209
	一般財源	487,486	460,374
令和5年度その他財源内訳	土地売払収入 4,273千円、ふるさと応援基金繰入金 724千円		

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：都市管理課

事業名称	中事業 市営住宅整備費	予算区分	款 土木費 項 住宅費 目 住宅管理費 大事業 市営住宅整備費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	納税者の視点で次の世代に責任ある財政に・行財政改革	資産の有効活用・モノ	公共建築物、いわゆる「ハコモノ」のマネジメント	
事業目的				
公営住宅等ライフサイクルコスト管理計画に基づき、市営住宅の計画的かつ効率的な整備を行い、住宅の機能、景観及び住環境の向上を図る。				
主な事業内容				
○公営住宅等の大規模改修工事 (桑栄団地バルコニー防水改修他工事) ・桑栄団地(26棟／52戸) ※82棟(164戸)のうち新栄町(26棟／52戸)が改修対象 工事請負費:43,060千円				
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。			計画年度	
○公営住宅等の大規模改修工事(屋上防水・外壁等改修工事)の近年の実績及び計画 ・令和4年度:桑栄団地(27棟54戸 皆町／全82棟164戸中)(バルコニー防水改修他工事) ・令和5年度:桑栄団地(26棟52戸 新栄町／全82棟164戸中)(バルコニー防水改修他工事) ・令和6年度:桑栄団地(29棟58戸 和合町／全82棟164戸中)(バルコニー防水改修他工事) ・令和6年度:築地町改良住宅(4棟8戸 1～8号／全14棟30戸中)(屋上防水改修他工事) ・令和6年度:芳ヶ崎住宅・集会所(公共下水接続工事、浄化槽汲取、下水接続受益者負担金) ・令和7年度:築地町改良住宅(3棟8戸 9～16号／全14棟30戸中)(屋上防水改修他工事) ・令和7年度:伊賀町住宅(3棟6戸 1～6号／全8棟19戸中)(屋根・外壁塗装他改修工事)			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予算額(単位:千円)				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		43,060	37,178	5,882
財源内訳	国支出金	21,530	18,589	2,941
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	21,530	18,589	2,941
	一般財源			0
令和5年度その他財源内訳		公営住宅使用料 21,530千円		

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：都市管理課

事業名称	中事業 市営住宅解体撤去事業費	予算区分	款 項 目 大 事 業	土木費 住宅費 住宅管理費 公共施設等解体撤去事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	納税者の視点で次の世代に責任ある財政に・行財政改革	資産の有効活用・モノ	公共建築物、いわゆる「ハコモノ」のマネジメント		
事業目的					
耐用年数を超過し、老朽化した市営住宅の解体撤去を行い、住環境の向上とライフサイクルコストの縮減につなげる。					
主な事業内容					
市営住宅の解体撤去工事 ・羽田町第一住宅(109号室～112号室) 1棟4戸 ・羽田町第四住宅(153号室～156号室) 1棟4戸 工事請負費:15,064千円					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
＜市営住宅解体撤去事業＞ ・平成28年度 羽田町第四住宅(1棟4戸) ・平成29年度 実績なし ・平成30年度 羽田町第一住宅(1棟4戸)、羽田町第二住宅(1棟4戸) ・令和元年度 羽田町第二住宅(3棟12戸)、深谷住宅3号(1棟) ・令和2年度 実績なし ・令和3年度 羽田町第一住宅(2棟8戸)、羽田町第三住宅(1棟8戸) ・令和5年度 羽田町第一住宅(1棟4戸)、羽田町第四住宅(1棟4戸) ・令和7年度(予定) 羽田町第一住宅(1棟8戸)、羽田町第四住宅(1棟8戸)				※事業内容は、今後変更することがあります。	
				R5	✓
				R6	
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		15,064		15,064	
財 源 内 訳	国支出金	6,750		6,750	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他	8,314		8,314	
	一般財源			0	
令和5年度その他財源内訳		公共施設整備基金繰入金 8,314千円			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：消防本部総務課

事業名称	中事業 車両購入費	予算区分	款 項 目 大	消防費 消防費 常備消防費 事業 消防施設整備事業	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	命を守ることが最優先	消防・救急	消防体制の充実強化		
事業目的					
車両整備計画に基づき、桑名市消防本部配備車両1台、桑名市消防署配備車両1台、桑名市消防署西分署配備車両1台、桑名市消防署大山田分署配備車両1台の計4台を更新する。					
主な事業内容					
桑名市消防本部配備の「桑名63」は平成14年度登録から20年経過となり、その使用頻度の高さからも更新が必要なため、予防広報車を購入する。 桑名市消防署配備の「救急桑名3」は平成25年度登録から9年経過となり、その使用頻度の高さからも更新が必要なため、高規格救急自動車を購入する。 桑名市消防署西分署配備の「防災指導車」は平成11年度登録から23年経過となり、その使用頻度の高さからも更新が必要なため、防災指導車を購入する。 桑名市消防署大山田分署配備の「防災指導車」は平成10年度登録から24年経過となり、その使用頻度の高さからも更新が必要なため、防災指導車を購入する。					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
令和5年4月:車両設計及び仕様書の完成 令和5年6月:契約予定 令和6年3月:完成及び納車予定				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		40,663	38,321	2,342	
財 源 内 訳	国支出金			0	
	県支出金		2,824	▲ 2,824	
	地方債	11,200		11,200	
	その他			0	
	一般財源	29,463	35,497	▲ 6,034	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：消防本部総務課

事業名称	中事業 消火栓整備費	予算区分	款 消防費 項 消防費 目 常備消防費 大事業 消防水利施設整備事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	命を守ることが最優先	消防・救急	消防体制の充実強化	
事業目的				
消防水利の環境整備を計画的に進める事により、火災発生時の消防活動に万全を期する。また、劣化が著しい消火栓は過去の事故のように市民生活やライフラインに極めて高い危険を及ぼす恐れがあることから、安全・安心なまちづくりのため早急な対策を実施する。				
主な事業内容				
桑名市の消火栓の新設・交換・移設を実施する。 ＜事業費内訳＞ ・老朽化による改修15基(16,800千円) ・水道布設替えに伴う移設20基(16,000千円) ・上下水道部によるコストキャップ事業に伴う移設8基(4,480千円)				
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。			計画年度	
・令和5年度 老朽化による改修(15基)、水道布設替えに伴う移設(20基)、下水道事業に伴う移設(8基) ・令和6年度 老朽化による改修(15基)、水道布設替えに伴う移設(上下水道部と協議)、下水道事業に伴う移設(上下水道部と協議) ・令和7年度 老朽化による改修(15基)、水道布設替えに伴う移設(上下水道部と協議)、下水道事業に伴う移設(上下水道部と協議)			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予算額(単位:千円)				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		37,280	29,248	8,032
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債	27,900	21,900	6,000
	その他			0
	一般財源	9,380	7,348	2,032
令和5年度その他財源内訳				

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：消防本部総務課

事業名称	中事業 消防庁舎等再編整備事業費(消防本部施設整備費)	予算区分	款 消防費 項 消防費 目 常備消防費 大事業 消防庁舎等再編整備事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	命を守ることが最優先	消防・救急	消防体制の充実強化	
事業目的				
市民の安全・安心を確保し、さらなる強固な防災体制の確立と市民サービスの向上を図るため、消防本部の高台移転を含む消防庁舎等再編整備を実施する。				
主な事業内容				
プロポーザルによって決定した契約事業者と事業をすすめるため、必要経費を計上する。 令和5年度においては、開発工事・建設工事を実施する。				
事業進捗状況(予定)等			計画年度	
令和4年度:基本合意書締結・基本設計・実施設計 令和5年度:開発工事・建設工事 令和6年度:建設工事 令和7年度より供用開始			R5	✓
			R6	✓
			R7	
予算額(単位:千円)				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		518,145		518,145
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債	499,400		499,400
	その他			0
	一般財源	18,745		18,745
令和5年度その他財源内訳				

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：防災・危機管理課

事業名称	中事業 保存版ハザードマップ作成費	予算区分	款 消防費 項 消防費 目 災害対策費 大 事業 避難対策費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	命を守ることが最優先	防災	市民・企業などの自助・共助の災害対策促進	
事業目的				
令和4年度に三重県より新たな「河川ごとの浸水想定区域図」が公表されたことから、市民向けに追加のハザードマップを作成・配布し、自然災害の危険性を認知していただくことを目的とする。				
主な事業内容				
ハザードマップデータ作成及び印刷業務が本事業に係る金額となる。 ・印刷製本費 176千円 ・委託料 データ作成費 1,113千円				
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。			計画年度	
令和5年4～5月 事業者選定 令和5年6～9月 ハザードマップデータの作成及び印刷 令和5年10月～ 「広報くわな」にて作成した旨を周知するとともに、公共施設等にて配架			R5	✓
			R6	
			R7	
予算額（単位:千円）				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		1,289		1,289
財源内訳	国支出金			0
	県支出金	644		644
	地方債			0
	その他	645		645
	一般財源			0
令和5年度その他財源内訳		ふるさと応援基金繰入金 645千円		

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：防災・危機管理課

事業名称	中事業 防災行政無線改修事業費	予算区分	款 消防費 項 消防費 目 災害対策費 大事業 防災関連情報費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	命を守ることが最優先	防災	防災対策および災害対策機能の強化	
事業目的				
電波法関連法令・無線設備規則の改正により旧スプリアス規格の特定無線設備が使用できない予定であるため、新規格に対応した防災行政無線基地局の基盤を更新するもの。 また現在導入している防災行政無線の基幹サーバが耐用年数を大幅に超えているため、併せて更新するもの。				
主な事業内容				
新スプリアス規格に対応するため、本庁と大山田分署に設置されている防災行政無線基地局の基盤改修を行う。また、併せて防災行政無線のサーバ更新作業を実施し、防災行政無線を安定稼働させることで、市民に迅速な情報提供をする。 防災行政無線改修事業費 46,893千円				
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。			計画年度	
4月～6月 仕様内容精査、入札 7月～8月 契約 9月～3月 工事、完了			R5	✓
			R6	
			R7	
予算額(単位:千円)				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		46,893		46,893
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債	46,800		46,800
	その他			0
	一般財源	93		93
令和5年度その他財源内訳				

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：学校支援課

事業名称	中事業 英語教育プラン推進事業費	予算区分	款 項 目 大事業	教育費 教育総務費 教育振興費 児童生徒指導事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	世界に向けて開かれたまち	国際理解教育	英語教育の推進		
事業目的					
グローバル化の進む社会において、自己実現をし、さまざまな人々と共生していくためのコミュニケーション力の育成を図るための英語教育が円滑かつ効果的に進められるよう、各小中学校において、指導方法及び指導体制の充実を図る。					
主な事業内容					
・市立小中学校において、桑名市英語教育プランを推進するため、外国語指導助手(ALT)、英語教育支援員(JTE)を派遣し、授業の補助や指導教材の作成、校内研修の補助を行う。 ・学習指導要領を踏まえた指導改善をより一層推進する。 ・英語を使って積極的にコミュニケーションを図る機会を創出するため、桑名子ども英語コンテストを行う。 <事業費内訳> 外国語指導助手(JET-ALT)関係経費 3,884千円 桑名子ども英語コンテスト 111千円					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
<通年> ・市立幼稚園、小学校に英語教育支援員(JTE)及び外国語指導助手(ALT)を派遣し、英語科の授業支援及び英語教育の支援を行う。 ・市立中学校に外国語指導助手(ALT)を派遣し、英語科の授業支援を行う。 <令和5年11月12日> ・桑名子ども英語コンテストを行い、桑名市英語教育プランの成果発表の場とする。				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		3,995	4,038	▲ 43	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他	978	939	39	
	一般財源	3,017	3,099	▲ 82	
令和5年度その他財源内訳		外国語指導助手家賃本人負担金 978千円			

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：人権教育課

事業名称	中事業 日本語学習環境充実事業費	予算区分	款項目 教育費 教育総務費 教育振興費 大事業 SDGs推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	世界に向けて開かれたまち	国際理解教育	外国人児童・生徒の学校生活支援の充実	
事業目的				
・外国から転入したが保護者の生活基盤確立のために、初期日本語指導教室「なかま」(以下「なかま」教室)に送迎できない児童生徒の通級を保障する。 ・子どもが日本語を習得することにより、将来の学力保障・進路保障につなげる。 ・充実した日本語指導を求めて、家族で桑名市に移住してくる外国人を増やす。				
主な事業内容				
・転入したものの、保護者の生活基盤確立のために「なかま」教室に送迎することができず、日本語を学ぶ機会が保障されていない児童生徒を、タクシー等により在籍校から「なかま」教室(大山田北小学校)へ送迎する。 ・在籍校に登校した該当児童生徒を、タクシー等により「なかま」教室のある大山田北小学校へ送る。 ・授業終了後、該当児童生徒をタクシー等により在籍校に送る。 ・該当児童生徒が「なかま」教室を終了するまで最長3か月間(日本語を早く習得した場合はこの限りではない)送迎する。				
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。			計画年度	
令和5年2月～3月 (前年度中に)事業者設定 令和5年4月 保護者・学校等への周知 令和5年4月～3月 「なかま」教室へのタクシー等による送迎			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予算額(単位:千円)				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		1,120		1,120
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	1,120		1,120
	一般財源			0
令和5年度その他財源内訳		ふるさと応援基金繰入金 1,120千円		

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：教育総務課

事業名称	中事業 教育ICT環境整備事業費	予算区分	款項目 教育費 教育総務費 教育振興費 大事業 DX(デジタルトランスフォーメーション)推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業	
	こどもを3人育てられるまち	学校教育	教育環境の整備	
事業目的				
新学習指導要領で学習の基盤となる資質・能力に定義された情報活用能力を、桑名の子どもたちが9年間の義務教育を通して身に付けられるようにするため、市内小中学校におけるICT環境の整備を継続的に行っていく。				
主な事業内容				
・新学習指導要領の実施に伴い、文科省より示された「平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」に基づき、市立小中学校のICT環境整備を継続的に行っていく。 ・上記に加え、文科省が提唱する「GIGAスクール構想」に基づき、生徒児童一人一台端末整備及び校内無線LAN拡張、それらの使用に耐えられる回線速度の増強を実施する。 ・端末については1年間のメーカー保証のみで運用するため、2年目以降の通常故障は修繕にて対応する。 なお、過失による故障は動産保険を適用し、不足分を修繕にて対応する。 ・情報コーディネーターによる運用の支援を行う。				
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。			計画年度	
①ICT整備(校務PC、校内無線LAN、デジタル教科書、iPad整備、保守業務等) 154,533千円 ＜契約期間＞ 令和元年9月～令和6年8月 ②GIGAスクール事業(一人一台端末リース、保守関係経費) 129,813千円 ＜契約期間＞ 令和3年1月～令和7年12月 ③ICT環境維持 ・端末修繕費 自然故障+過失故障 8,774千円 ・ウイルス対策 3,960千円、充電保管庫移設 330千円、運用支援業務委託 110千円、回線利用料 11,709千円			R5	✓
			R6	✓
			R7	✓
予算額(単位:千円)				
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額
計		309,229	309,333	▲ 104
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	230,000	230,000	0
	一般財源	79,229	79,333	▲ 104
令和5年度その他財源内訳		情報システム整備基金繰入金 130,000千円 子ども応援基金繰入金 100,000千円		

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：学校支援課

事業名称	中事業 教育用コンピュータ整備事業費	予算区分	款 項 目 大事業	教育費 教育総務費 教育振興費 DX(デジタルトランスフォーメーション)推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	こどもを3人育てられるまち	学校教育	教育環境の整備		
事業目的					
・高度情報化社会の中で生きる子どもたちには、情報を適切に処理し、効果的に活用する能力の育成が必要であり、そのための情報処理の学習と情報機器の活用が実践的に行える環境を継続的に整備する。 ・全国学力・学習状況調査のCBT化や学習者用デジタル教科書の導入等、ICT活用に係る環境設定及びアカウント管理等、多様化する学校教育下でのICT教育環境を適切に整備し運用する。 ・ICT教育環境整備業務が集中する年度当初を含め年間を通し訪問支援を行い、教職員の業務改善を行う。					
主な事業内容					
・高度情報化社会を生きる児童生徒に、あらゆる情報を適切に処理し、効果的に活用する能力を育むため、全ての教育活動においてICTを活用した総合的な情報教育が行える環境を整備する。 ・全ての教育活動において、タブレットや大型提示装置等をはじめとする様々なICTの活用を促進することにより、児童生徒の情報活用能力や学習理解力の向上を図る。 ・「児童生徒一人一台端末の管理」「授業支援ソフト・デジタルドリル・学習eポータルによるコンテンツ・学習者用デジタル教科書・Google Workspaceの活用」「全国学力・学習状況調査のデジタル化対応」「統合型校務支援システムの操作」等、GIGAスクール構想によるICT環境整備に伴い生じている学校現場におけるICTに係る業務への支援を行う。 ＜事業費内訳＞ 委託料 17,451千円					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
○市立小中学校の情報教育を一層充実させるため、ICT支援員を配置しICT活用推進を図る。 ・市内小中学校に導入されたICT機器を最大限に活用するため、授業活用に向けた計画支援(機器の設定準備・アプリ等の操作方法)・授業活用時の機器トラブルへの対応を含めたサポートを行う。 ・ICT機器の設定準備等をICT支援員が担うことにより、教員がより質の高い授業や個に応じた学習指導にあたることができるよう支援するとともに、専門スタッフとの役割分担を明確化することで教員の働き方改革を推進する。				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		17,451	15,488	1,963	
財 源 内 訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他			0	
	一般財源	17,451	15,488	1,963	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：教育総務課

事業名称	中事業 小中学校再編計画策定事業費	予算区分	款 項 目 大事業	教育費 教育総務費 教育振興費 教育環境再構築推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	こどもを3人育てられるまち	学校教育	教育環境の整備		
事業目的					
人口減少に伴う児童生徒数の減少がもたらす小中学校の小規模化及び学校施設等の老朽化が進行する中、子どもたちにより良い教育環境を提供するため、現在、多度地区をモデル校として小中一貫校の整備が進められている。多度地区での小中一貫校の整備が一定の進捗を迎えたことから、今後、多度地区以外の小中学校の教育環境について整備を行う。					
主な事業内容					
多度地区を除く(仮称)桑名市立小中学校再編計画の策定(3か年予定)を行う。 ・(仮称)桑名市立小中学校再編計画策定に係る事業者選定 ・現状分析と課題整理 ・適正配置等の具体的手法の検討と比較など					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
・令和5年4～6月 小中学校再編実施計画策定支援業務にかかる事業者公募・契約 ・令和5年度 現状分析・課題整理、適正配置の具体的手法の検討・比較 ・令和6年度 適正配置の具体的手法の検討・比較、方針(案)の決定等 ・令和7年度 (仮称)桑名市立小中学校再編計画策定 <参考> ・いなべ市:いなべ市立公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画(小学校・中学校施設)(令和3年11月) ・志摩市:志摩市立小中学校再編基本計画(平成21年11月) ・鳥羽市:鳥羽市小中学校統合計画(令和4年3月)				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		8,181		8,181	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他			0	
	一般財源	8,181		8,181	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：新たな学校づくり課

事業名称	中事業 多度地区小中一貫校建設事業費	予算区分	款 項 目 大事業	教育費 教育総務費 小中一貫校費 小中一貫校事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	こどもを3人育てられるまち	学校教育	教育環境の整備		
事業目的					
多度地区における小中一貫校整備について、設計施工一括発注方式による事業者ノウハウを活かした建築・造成・工事監理を行い、小中一貫校に適した学校建設を目指す。					
主な事業内容					
・多度地区小中一貫校整備事業(設計・工事) 383,000千円 ＜事業者＞ ・前田・水谷・石本・日本工営都市空間特定設計・建設工事共同企業体 ＜代表企業＞ ・前田建設工業株式会社 三重営業所 ＜構成企業＞ ・水谷建設株式会社 ・株式会社石本建築事務所 名古屋オフィス ・日本工営都市空間株式会社 三重事務所					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
令和4年度 多度地区小中一貫校整備 ・本契約締結 ・設計施工一括発注方式により設計 令和5年度 多度地区小中一貫校整備 ・設計施工一括発注方式により設計及び造成				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		383,000		383,000	
財源内訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債	283,400		283,400	
	その他			0	
	一般財源	99,600		99,600	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：教育総務課

事業名称	中事業 トイレ改修事業費	予算区分	款 項 目 大 事 業	教育費 小学校費 学校管理費 施設整備費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	こどもを3人育てられるまち	学校教育	教育環境の整備		
事業目的					
学校トイレの機能改善や環境向上を通じて、良好な教育環境の整備を図る。					
主な事業内容					
トイレ改修事業 ・城南小学校（施工・監理） ・精義小学校（設計）					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
令和4年度 大山田西小学校(施工)・城南小学校(設計) 令和5年度 城南小学校(施工)・精義小学校(設計) 令和6年度 精義小学校(施工)・在良小学校(設計) 令和7年度 在良小学校(施工)・城東小学校(設計)				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予 算 額（単位:千円）					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		66,364	59,270	7,094	
財 源 内 訳	国支出金	21,457	19,534	1,923	
	県支出金			0	
	地方債	29,700	27,700	2,000	
	その他			0	
	一般財源	15,207	12,036	3,171	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：教育総務課

事業名称	中事業 施設改修事業費	予算区分	款 項 目 大事業	教育費 小学校費 学校管理費 施設整備費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	こどもを3人育てられるまち	学校教育	教育環境の整備		
事業目的					
屋上防水工事については、令和2年度に実施した施設劣化状況調査によりD評価と診断され、早期に対応が必要な部位について学校施設適正管理計画に基づき施設改修を行うものである。 防火設備改修工事については、防火設備定期点検により不具合が報告された防火扉・防火シャッターについて、非常時の学校施設の安全性確保のため施設改修を行うものである。 放送設備については、老朽化した小学校の放送設備の改修を行い、良好な教育環境を整えるものである。					
主な事業内容					
・屋上防水工事(大山田西小) ・防火設備改修工事(大山田北小・大山田西小・大山田東小・藤が丘小) 防火設備改修設計委託(日進小・立教小・長島北部小) ・放送設備更新工事(久米小)					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
＜屋上防水＞令和5年度 大山田西小 ＜防火設備＞令和5年度 大山田北小・大山田西小・大山田東小・藤が丘小 令和6年度 立教小 令和7年度 日進小・長島北部小 ＜放送設備＞令和5年度 久米小 令和6年度 桑部小 令和7年度 大山田南小				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予 算 額 (単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		41,709	29,465	12,244	
財 源 内 訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債		3,400	▲ 3,400	
	その他			0	
	一般財源	41,709	26,065	15,644	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：教育総務課

事業 名称	中事業 施設改修事業費	予 算 区 分	款 項 目 大 事 業	教育費 中学校費 学校管理費 施設整備費	
総合計画の 体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	こどもを3人育てられるまち	学校教育	教育環境の整備		
事業目的					
・防火設備の改修について、令和3年度に実施した防火設備定期点検により不具合が報告された防火扉・防火シャッターについて非常時の学校施設の安全性確保のため施設改修を行っていく。 ・バリアフリー設備の改修について、令和3年4月施行の改正バリアフリー法に基づき、人間の多様性を尊重し、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ、インクルーシブ教育の充実を目指し、施設の整備を行っていく。 ・放送設備の更新について、老朽化した中学校の放送設備の改修を行い、良好な教育環境を整える。					
主な事業内容					
＜防火設備の改修＞ ・明正中・光風中・陽和中・正和中・長島中(防火設備改修工事 設計業務委託) ＜バリアフリー設備の改修＞ ・光陵中(バリアフリー設備改修工事 設計業務委託) ＜放送設備の更新＞ ・光陵中学校(放送設備更新工事)					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
＜防火設備の改修＞ 令和5年度 明正中・光風中・陽和中・正和中・長島中(設計) 令和6年度 光風中(工事) 令和7年度 正和中(工事) ＜バリアフリー設備の改修＞ 令和5年度 光陵中学校(設計) 令和6年度 陵成中学校、光陵中学校(施工) ＜放送設備の更新＞ 令和5年度 光陵中学校(工事)				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予 算 額 (単位:千円)					
事業費		5 年 度 当 初	4 年 度 当 初	増 減 額	
計		16,052	5,934	10,118	
財 源 内 訳	国 支 出 金			0	
	県 支 出 金			0	
	地 方 債			0	
	そ の 他			0	
	一 般 財 源	16,052	5,934	10,118	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：教育総務課

事業名称	中事業 空調設備整備事業費	予算区分	款 項 目 大事業	教育費 中学校費 学校管理費 施設整備費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	こどもを3人育てられるまち	学校教育	教育環境の整備		
事業目的					
<空調設備の更新> 設置後16年以上経過し補修部品の供給期限を超過した中学校の空調設備の更新を行い、良好な教育環境を整える。 <空調設備の設置> 職員室(事務室)に空調設備を設置することにより、快適な職場環境とする。					
主な事業内容					
<空調設備の更新> ・明正中学校(設計) ・正和中学校(設計) <空調設備の設置> ・陽和中学校 職員室(事務室) 空調設置 1基 ・光陵中学校 職員室(事務室) 空調設置 1基					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
<空調設備の更新> 令和5年度 明正中学校、正和中学校(設計) 令和6年度 明正中学校、正和中学校(施工) 光風中学校、光陵中学校(設計) 令和7年度 光風中学校、光陵中学校(施工) 成徳中学校、陽和中学校(設計) <空調設備の設置> 令和5年7月 職員室(事務室) 空調設置予定				※事業内容は、今後変更することがあります。	
				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		9,638		9,638	
財 源 内 訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他			0	
	一般財源	9,638		9,638	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：ブランド推進課

事業名称	中事業 文化財保存事業費	予算区分	款 項 目 大事業	教育費 社会教育費 文化振興費 ブランド推進事業費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	桑名をまちごとブランドに	文化・スポーツ	文化財の保護・活用		
事業目的					
ユネスコ無形文化遺産の石取祭の祭車、国指定文化財である諸戸氏庭園及び旧諸戸氏庭園、旧諸戸家住宅、県指定文化財の諸戸氏庭園煉瓦橋及び徳蓮寺小絵馬、長島三町石取祭の祭車について文化財を保存・活用していくために改修事業を実施する。					
主な事業内容					
・諸戸氏庭園の工事は、令和4年度に庭園の樹木・石組修復等を行う。令和6年度までを予定している。(7,845千円) ・諸戸氏庭園煉瓦橋修復事業は、令和5年度のみ単年事業として予定している。(2,000千円) ・石取祭車の老朽化が進んでいる。馬道、東鍋屋町、矢田町の祭車の修繕を行う。(452千円) ・旧諸戸氏庭園、旧諸戸家住宅洋館及び和館は、名勝・重要文化財で一般公開されているが公開後本格的な修理を行っていないため、国の指針に沿って保存活用を行う。(庭園:4,120千円、住宅:6,236千円) ・徳蓮寺小絵馬は、文化財の焼失を避けるため自火報の設置を行う(88千円) ・長島三町石取祭の祭車の修繕を行う。(800千円) ・佐藤義一郎顕彰碑移設事業(1,000千円)					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
・諸戸氏庭園では樹木伐採及び保存、苑内の地割れ、庭園西側の煉瓦塀の修復等を行う。 ・諸戸氏庭園煉瓦橋修復事業は、県指定の煉瓦橋の修復を行う。 ・石取祭車は馬道、東鍋屋町、矢田町の祭車の漆塗りや山形新調、破魔の新調、修繕を部会専門委員の監修を受けながら行う。 ・旧諸戸家住宅、旧諸戸氏庭園では整備・運営体制の整理、事業計画の検討、保存活用計画書の編集・全体校正、製本印刷、委員会の開催を行う。 ・徳蓮寺小絵馬は、本堂内に火災通報装置の設置などを行う。 ・長島三町石取祭の祭車は、前破魔と後破魔の修繕を行う。				R5	✓
				R6	✓
				R7	✓
予算額(単位:千円)					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		22,541	52,837	▲ 30,296	
財源内訳	国支出金	4,678	8,948	▲ 4,270	
	県支出金	654	927	▲ 273	
	地方債			0	
	その他			0	
	一般財源	17,209	42,962	▲ 25,753	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【一般会計】

所属：生涯学習・スポーツ課

事業名称	中事業 総合運動公園第四工区整備事業費	予算区分	款 項 目 大 事 業	教育費 保健体育費 社会体育施設費 施設整備費	
総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	桑名をまちごとブランドに	文化・スポーツ	その他		
事業目的					
総合運動公園は、「緑の中のスポーツ・レクリエーション」をコンセプトとし、自然環境を活かした生涯スポーツの実践の場としての整備を進めている。スポーツ環境の充実と、健康づくりを推進することをめざし、スポーツ施設を整備する。					
主な事業内容					
桑名市総合運動公園へのプール建設のためのプロポーザルを実施するにあたり、学識経験者等で構成する選定委員会を設置する。選定委員会は、落札決定基準や入札説明書等事業者選定に関する書類の検討を行うとともに、入札参加者から提出された提案の審査を行う。					
事業進捗状況(予定)等 ※事業内容は、今後変更することがあります。				計画年度	
令和5年度に選定委員会を設置し、準備が整い次第桑名市総合運動公園整備事業者選定公募を行う。				R5	✓
				R6	
				R7	
予 算 額（単位:千円）					
事業費		5年度当初	4年度当初	増減額	
計		228		228	
財 源 内 訳	国支出金			0	
	県支出金			0	
	地方債			0	
	その他			0	
	一般財源	228		228	
令和5年度その他財源内訳					

令和5年度 事業概要書【特別会計】

会計名称：国民健康保険事業特別会計

所属：保健医療課

総合計画 の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	医療保険・生活保護	国民健康保険事業の充実
事業目的			
国民皆保険制度の根幹としての重要な役割を担っており、誰もが安心して医療が受けられるための受診機会の確保や健康の維持増進に努める。			
主な歳入・歳出の内容			
【歳入】 ・国民健康保険税 (令和5年度:2,637,282千円、令和4年度:2,778,709千円、増減額▲141,427千円) ・現年度収納率 令和3年度:95.50%、令和2年度:94.79%、増減率0.71% 【歳出】 ・保険給付費(令和5年度:9,309,484千円、令和4年度:9,677,595千円、増減額▲368,111千円) ・国保事業費納付金(令和5年度:3,468,402千円、令和4年度:3,522,430千円、増減額▲54,028千円) ・保健事業費(令和5年度:216,344千円、令和4年度:215,525千円、増減額819千円)			
事業進捗状況(予定)等			計画年度
・平均被保険者実績 (令和3年度:24,889人、令和2年度:25,357人、増減数▲468人) ・一人当たり費用額 (令和3年度:431,262円、令和2年度:397,833円、増減額33,429円) ・特定健診受診率 (令和3年度:46.1%、令和2年度:46.8% 増減率▲0.7%)			R5
			✓
			R6
			R7
予 算 額 (単位:千円)			
事業費	5 年 度 当 初	4 年 度 当 初	増 減 額
計	13,216,979	13,627,799	▲ 410,820
国支出金			0
県支出金	9,539,134	9,877,515	▲ 338,381
地 方 債			0
そ の 他	1,040,563	971,575	68,988
一般財源	2,637,282	2,778,709	▲ 141,427
一般会計からの繰入金の状況 (単位:千円)			
	5 年 度 当 初	4 年 度 当 初	増 減 額
一般会計繰入金	973,800	909,646	64,154

令和5年度 事業概要書【特別会計】

会計名称：農業集落排水事業特別会計

所属：企画総務課

総合計画 の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	命を守ることが最優先	上下水道	安全・安心な生活基盤の提供		
事業目的					
市内4地区において、農村地域における資源循環の促進を図りつつ、農業用排水の水質保全、機能維持及び農村生活環境の改善を図る。併せて公共用水域の水質保全に寄与するため、農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水を処理するため、農業集落排水施設を整備し、生産性の高い農業の実現と活力ある農村社会の形成及び循環型社会の構築に努めている。					
主な歳入・歳出の内容					
【歳入】 ・農業集落排水施設使用料(令和5年度:28,194千円、令和4年度:28,770千円、増減額:▲576千円) 水量減少に伴う収入の減少 ・農業集落排水事業費県補助金(令和5年度:17,000千円、令和4年度:2,600千円、増減額:14,400千円) 古野地区他2地区の維持管理適正化計画策定業務委託に伴う補助金の交付による増加					
【歳出】 ・建設改良費委託料(令和5年度:17,556千円、令和4年度:3,000千円、増減額:14,556千円) 古野地区他2地区の維持管理適正化計画策定業務委託の実施による増加 ・工事請負費(令和5年度:25,760千円、令和4年度:24,000千円、増減額:1,760千円) 多度北地区浄化センターの機械及び電気設備撤去工事の実施による増加					
事業進捗状況(予定)等 ※計画額は、今後変更することがあります。				計画年度	
普及状況 ・令和元年度処理区域内世帯数:769世帯 処理区域内人口 :2,096人 ・令和2年度処理区域内世帯数:762世帯 処理区域内人口 :2,052人 ・令和3年度処理区域内世帯数:541世帯 処理区域内人口 :1,413人 水洗化世帯数:731世帯 水洗化人口 :2,012人 水洗化世帯数:725世帯 水洗化人口 :1,974人 水洗化世帯数:507世帯 水洗化人口 :1,352人				R5	✓
				R6	
				R7	
予 算 額 (単位:千円)					
事業費	5 年 度 当 初	4 年 度 当 初	増 減 額		
計	193,377	185,370	8,007		
国支出金			0		
県支出金	17,000	2,600	14,400		
地方債	11,900	5,400	6,500		
その他	28,366	28,943	▲ 577		
一般財源	136,111	148,427	▲ 12,316		
一般会計からの繰入金の状況 (単位:千円)					
	5 年 度 当 初	4 年 度 当 初	増 減 額		
一般会計繰入金	136,111	148,427	▲ 12,316		

令和5年度 事業概要書【特別会計】

会計名称：介護保険事業特別会計

所属：介護高齢課

総合計画 の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	命を守ることが最優先	介護保険・高齢者福祉	介護の必要な高齢者の為の介護サービスの充実		
事業目的					
介護保険法に基づき、居宅介護等(介護予防)サービス、地域密着型(介護予防)サービス、施設介護サービス等に係る経費を給付する。 介護保険制度の円滑な実施の観点から、被保険者が要介護状態等になることを予防するとともに、要介護状態等となった場合においても、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的とする。					
主な歳入・歳出の内容					
【歳入】 ・保険料収入(令和5年度:2,571,079千円、令和4年度:2,558,568千円、増減額:12,511千円) 第1号被保険者から納付される介護保険料 【歳出】 ・保険給付費(令和5年度:10,401,121千円、令和4年度:9,878,513千円、増減額:522,608千円) 介護保険被保険者のうち要支援及び要介護の認定者が利用したサービスに係る経費及びそれに伴う三重県国民健康保険団体連合会への審査支払手数料 ・地域支援事業費(令和5年度:298,678千円、令和4年度:346,983千円、増減額:▲48,305千円) 介護予防・日常生活支援総合事業、在宅医療・介護連携推進事業、認知症総合支援事業等を実施					
事業進捗状況(予定)等 ※計画額は、今後変更することがあります。				計画年度	
第8期介護保険事業計画・第9期老人福祉計画の最終年。次期計画に向けて、介護保険料の見直し及び介護予防・日常生活支援総合事業、在宅医療・介護連携推進事業、認知症総合支援事業等のサービスの充実を図り、介護予防啓発に努める。 ＜介護保険1号被保険者数＞ 令和4年度(4月末時点):37,804人 令和5年度(計画数値):38,003人 ＜要介護・要支援認定者数＞ 令和4年度(4月末時点):5,424人 令和5年度(計画数値):5,630人				R5	✓
				R6	
				R7	
予算額(単位:千円)					
事業費	5年度 当初	4年度 当初	増減額		
計	11,199,368	10,689,356	510,012		
国支出金	2,367,298	2,266,045	101,253		
県支出金	1,337,294	1,277,992	59,302		
地方債			0		
その他	5,849,212	5,563,045	286,167		
一般財源	1,645,564	1,582,274	63,290		
一般会計からの繰入金の状況(単位:千円)					
	5年度 当初	4年度 当初	増減額		
一般会計繰入金	1,645,564	1,582,274	63,290		

令和5年度 事業概要書【特別会計】

会計名称：後期高齢者医療事業特別会計

所属：保健医療課

総合計画 の体系	ビジョン	基本計画	基本事業		
	命を守ることが最優先	医療保険・生活保護	後期高齢者医療制度の対応		
事業目的					
適切な給付及び特定健診等の保健事業を推進するため、三重県後期高齢者医療広域連合に対し、構成団体分賦金を納付する。					
主な歳入・歳出の内容					
【歳入】 ・後期高齢者医療保険料 令和5年度:1,695,056千円、令和4年度:1,694,413千円、増減額643千円 ・現年度収納率 令和3年度:99.60%、令和2年度:99.52%、増減率0.08% 【歳出】 ・後期高齢者医療広域連合納付金 令和5年度:3,487,747千円、令和4年度:3,344,574千円、増減額143,173千円					
事業進捗状況(予定)等				計画年度	
・年度末被保険者数 令和3年度:19,290人、令和2年度:19,011人、増減数279人 ・一人当たり費用額 令和3年度:873,778円、令和2年度:847,970円、増減額25,808円 ・健康診査受診率 令和3年度:36.40%、令和2年度:36.12%、増減率0.28%				※計画額は、今後変更することがあります。	
				R5	✓
				R6	
				R7	
予算額(単位:千円)					
事業費	5年度 当初	4年度 当初	増減額		
計	3,543,329	3,396,204	147,125		
国支出金			0		
県支出金			0		
地方債			0		
その他	1,705,956	1,704,431	1,525		
一般財源	1,837,373	1,691,773	145,600		
一般会計からの繰入金の状況(単位:千円)					
	5年度 当初	4年度 当初	増減額		
一般会計繰入金	1,837,373	1,691,773	145,600		

令和5年度 事業概要書【特別会計】

会計名称：(地独)桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計 所属：保健医療課

総合計画 の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	地域医療・健康づくり	救急医療体制の整備および充実
事業目的			
(地独)桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計は、地方独立行政法人化に伴い病院事業会計が廃止されたことから、平成22年度から地方独立行政法人桑名市民病院施設整備等貸付事業特別会計を設け、予算編成し、また、平成24年4月1日に法人名称が変更されたことに伴い、会計名称を変更して法人への貸付等を実施している。			
主な歳入・歳出の内容			
【歳入】 ・事業収入(令和5年度851,153千円、令和4年度:744,628千円、増減額106,525千円) 病院事業債及び一般会計貸付分の償還に伴う地方独立行政法人からの貸付金元利収入の増 ・市債(令和5年度222,200千円、令和4年度500,000千円、増減額:▲277,800千円) 器械備品整備事業費の減少による病院事業債の減 【歳出】 ・器械備品整備事業貸付金(令和5年度222,200千円、令和4年度:500,000千円、増減額:▲277,800千円) 器械備品整備事業費の減少による貸付金の減 ・病院事業債元金償還金(令和5年度734,809千円、令和4年度627,980千円、増減額:106,829千円) 病院事業債に係る元金償還金の増			
事業進捗状況(予定)等			計画年度
令和5年度は病院の器械備品の購入および更新を実施する。 ・器械備品整備事業貸付金 令和3年度決算額:80,000千円 令和4年度決算見込額:500,000千円 令和5年度予算額:222,200千円			R5
			R6
			R7
予 算 額 (単位:千円)			
事業費	5 年 度 当 初	4 年 度 当 初	増 減 額
計	1,073,522	1,244,800	▲ 171,278
国支出金			0
県支出金			0
地 方 債	222,200	500,000	▲ 277,800
そ の 他	851,322	744,800	106,522
一般財源			0
一般会計からの繰入金の状況 (単位:千円)			
	5 年 度 当 初	4 年 度 当 初	増 減 額
一般会計繰入金	168	171	▲ 3

再生紙を使用しています。